

ナナカマド

58
VOL

2013(H25)年8月1日発行

北海道情報大学の正面エントランスには、ナナカマドの並木があり、その下には春にシバザクラがピンクと白の花を咲かせ、一面に甘い香りが広がります。

北海道情報大学広報誌
となかまど
2013 (H25) 年 8 月 1 日

CONTENTS — もくじ

VOL **58**

01	表紙
02	目次
03	入学式
04	留学生の編入学式
05	名誉教授称号授与式
06	新任教員紹介 経営情報学部 内山教授
07	新任教員紹介 医療情報学部 喜多教授
08	新任教員紹介 経営情報学部 藤本准教授
09	新任教員紹介 情報メディア学部 藤原准教授
10	新任教員紹介 経営情報学部 古川教授
11	新任教員紹介 経営情報学部 諸岡准教授
12	新任教員紹介 経営情報学部 若松教授
13	大学説明会 企業・病院説明会
14-15	第4回留学生の日本語弁論大会
16	保護者の会・役員会
17	大学院生のビジネスコンテスト入賞・学会発表
18-19	第23回 体育祭報告 学生実行委員会
20-21	ビジュアルメッセージ
22-23	観光情報学会 第10回全国大会優秀賞 第6回研究発表会 W受賞!
24-25	「輝け! ジョンブリアン」北海道映像コンテスト 2013 奨励賞を受賞!!
26-27	第22回 YOSAKOI ソーラン祭り 2013
28	Library News 図書館賞・新入生宿泊研修報告
29	クラブ紹介 写真部
30	この先生の裏の顔シリーズ第一回 情報メディア学部・三浦教授
31	ネイティブが教える 英語・中国語「緊急編」
32	野幌サイクルシェアリング「のっちゃり」について
33	TED (Technology Entertainment Design) 9月29日(日) 本学にて開催!
34-35	平成25年度 公開講座案内
36-37	学校法人電子開発学園 平成24年度決算の概要
38	HIU系女子の活動日記
39	大学主要行事など
40	となかまど編集隊報告

北海道情報大学 平成25年度 入学式

4月4日(木)午前10時から、本学松尾記念館講堂において、平成25年度北海道情報大学入学式を挙行了しました。

今年度は、医療情報学部第1期生の記念すべき入学式でもありました。

式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室(211教室、212教室、213教室)と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、約1,000名の新入生が、情報大学生としてスタートしました。

今年度は、先にも述べましたが医療情報学部を新設したほかに、他の学部・学科では入学定員を増員したことに伴い、入学生が多く、式場内に保護者席を用意することはできませんでしたが、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中に行われました。



祝辞を述べる松尾理事長



告示を述べる富士学長



宣誓を学長に手渡す入学生代表の鈴木涼太さん

式の中では、入学生代表として鈴木(すずき)涼太(りょうた)さん(情報メディア学科1年)が、南京大学編入学生代表として許(きよ)榮蓉(えいよう)さん(情報メディア学科3年)が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

式終了後には、新入生と保護者に対して、建学の理念と、本学の開学に至った経緯等について知っていただくために作成したDVDの上映を行い、その後、学科・専攻ごとに分かれて、新入生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科別等ミーティングが行われました。

入学式

南京大学から IT・日本語クラス 7 期生が本学に編入学



平成 19 年から実施している、中国南京大学と本学の間の共同事業『IT・日本語クラス』の 7 期生 6 名が、平成 25 年 4 月、晴れて本学情報メディア学部の 3 年次に編入学しました。

この共同事業は、南京大学と本学との協定に基づき、まず南京大学で 2 年間、IT と日本語の基礎を勉強します。

その後、本学情報メディア学部 3 年次に編入学して 2 年間、専門科目を修めて本学を卒業し学士の学位取得を目指すというものです。

彼らは、今年の 3 月 10 日に日本へ来ました。一昨年 3 月 11 日に、東日本大震災が発生して中国でも連日テレビや新聞で津波や原子力発電所の被害の様子が報道されていました。学生の中には日本への留学をあきらめて他の外国留学を勧める家族や友人たちも多くいたようです。そんな状況下で 7 期生は、初志貫徹の日本行きを決断しました。彼らの勇気と送り出してくれたご家族のご理解に、敬意を表したいと思います。

まだまだ震災復興が続く日本で留学することは、様々な面で学生たちに

にとっては貴重な体験となることでしょう。ぜひ、これからの日本での留学生生活を有意義なものにしてもらうことを期待しています。

入学式で留学生代表として許蓉蓉(きょ えいよう)さんが述べた宣誓文を紹介します。

宣誓



私たち、南京大学外国語学院、IT・日本語クラスの 6 名は、今日、ここに、晴れて北海道情報大学の入学式に参加することができました。

この 2 年間、南京大学で、日本語や IT に関する科目を中心に学び、留学するために、中国で短期大学の卒業試験や、日本語能力試験など、さまざまな試験を受けてきました。本日、この

日を迎えることができ、うれしく思います。

中国と日本は国交正常化以来、昨年で 40 周年を迎えました。あらゆる分野において関係を発展させてきました。北海道も中国の八つの省と協定を結びさまざまな分野で交流しています。それでも両国は昨年からの政治の分野では衝突して、緊張した関係も続いています。

また、2 年前の 3 月 11 日に、日本で大きな地震が発生しました。私たちの日本への留学に対して、家族や友人たちはとても心配しています。私たち自身も、少し不安がありました。

しかし、新千歳空港に着き、大学の寮へ向かうバスの窓から見る景色は、雪の多さにびっくりしましたが、青い空に白い雲、眩しい太陽の光に、残雪が輝き、街中の空気は冷たく新鮮でとても美味しく感じました。いつのまにか、中国を離れる時の不安がなくなっていました。

大学の寮生活が始まって三週間が過ぎました。この三週間、色々な景色を見て、不思議な感じを持ちました。特に雪の積もった森林の大自然の中に先進的な情報技術を学ぶ、近代的な建物の大学が存在している素晴らしい環境に、驚きとうれしさを感じました。

一日も早く日本の生活に慣れ、多くの友人も作り、IT 技術者や、研究者を目指して頑張ります。

自分の夢を叶えるために努力をし、これからの留学生生活を、実りあるものにするのを、お約束して、留学生代表の言葉といたします。

2013 年 4 月 4 日 留学生代表
許蓉蓉(xu rong rong)

名誉教授称号授与式

平成25年7月10日(水)、北海道情報大学名誉教授称号授与規程に基づき、名誉教授の称号授与式が学長室において行われました。

富士学長、和田副学長兼医療情報学部長、澤井経営情報学部長、山北情報メディア学部長、中居常務理事、近藤事務局長、川口副事務局長立ち会いのもと、富士学長から関正治氏(元システム情報学科教授)、森澤好臣氏(元システム情報学科教授)へ称号が授与され、最後に富士学長より、長年にわたって本学に多大なる御尽力されたことへの感謝の辞がのべられました。



授与式の関正治教授(右)と森澤好臣教授(左)



名誉教授称号授与にあたって

関 正 治

二十四年間の教育研究活動が、本学の発展と教育に貢献できたことが認められて大変嬉しく感慨一入です。大学との絆が太くなりました。現在、非常勤講師として授業を担当しています。お蔭様で一定の生活リズムが保たれて、社会に貢献し絆で繋がっていると

いう充実感があります。卒業生が訪ねて来て飲み会の予定も入りました。歳を取ってからも多くの若い人達とお付き合いができて幸せです。

この度の授与をきっかけに、人との出会いを大切に、趣味や仕事を通して、充実した第二の人生を送られるように努力したいと思います。

名誉教授称号授与にあたり

森澤 好臣

この度は名誉教授を賜り恐縮しています。コンピュータの発展に伴って歩んだ35年間に日本ユニシスを通して学んだ知識と技術や、日米に跨がって経験したことを、些かでも若い世代に引き継ぎたいという思いで、未経験の教職に飛び込みました。明日の社会を担う若者が、「北海道情報大学で良かった」と思えるように学生と共に学んだ11年間でした。大過なく定年退職できたのは、多くの関係者諸氏のおかげです。ゼミ学生諸君には感謝です。やっと社会的責務のある立場を降りることができたと思っていましたが、これからは名誉教授の名を汚さないように身を律する覚悟です。

まだまだ新しい発見が、できそうです

新任教員からのごあいさつ

経営情報学部 教授

うちやま としお
内山俊郎



この4月に経営情報学部に着任した内山俊郎です。これまで私は東京や神奈川に住んでおり、北海道での生活は初めてです。今、この原稿を書いている6月下旬、江別では蝉が鳴き、爽やかに晴れあがり、とても気持ちの良い気候です。私は学生の時、夏の北海道を自転車で旅行した思い出があり、北海道の自然の素晴らしさを知っているつもりでしたが、6月に蝉の声を聴いたり、5月にタンポポが草原を覆うのを見たり、まだまだ新しい発見ができそうでとても楽しみです。このような自然の中で気持ちよく勉学に励めることは、素晴らしいことだと思います。

北海道情報大学のカリキュラムや設備を見て感じていることは、本気で情報スペシャリストを育てようとしていることです。世の中では「情報リテラシーは誰でも持っているから、情報系の勉強だけでは不十分」という意見を聞いたことがあります。しかし、本学のカリキュラムを見れば、単なる情報リテラシー以上を目指していることが伝わってきます。一例を挙げれば、プログラム言語の習得が必須の学科において、習熟度別の対応も含めて手厚い指導体制が組まれている点などに本気度を感じます。そして、メディ

ア処理、医療情報、情報科学、ネットワークや通信、組み込みシステムやシステム設計…、など様々な専門科目が用意されています。ここで、私が講義として担当する情報システムや研究の専門であるデータ解析と関連する「コンピュータを使いこなす知識・スキル」について考えてみます。コンピュータをワープロやプレゼン資料作成用、そしてホームページ閲覧用として使っている人は多いですが、システムの中で実際に動くプログラムを作ったり、データ解析・処理を行ったりできる人は少数だと思っています。この何十年、あるいは十年を見てもコンピュータの処理能力は大きく向上しました。また、インターネット上はもちろん、企業、病院、公官庁、様々なところでデータが電子化され、大量の電子データが蓄積されています。したがって、情報システムへの期待、情報処理への期待は大きく、コンピュータを使いこなす知識・スキルは価値が高いと言えます。情報大の卒業生がIT社会の基盤を支える重要な役割を担うこと、またそのための教育に貢献できることを目指したいと思います。

講義について目標としていることは、分かりやすさです。私は企業の研究所におり、文献や専門書を読む機会が多かったです。これらを読んでいるときに、説明に飛躍があったり、説明が省略されたりしていると、理解するのに苦労しました。そこで、苦労をせずに、あっさり理解して欲しい、というのがこの目標を掲げた動機です。私見ですが、「分かりやすい」とは、ある程度全体を俯瞰でき、ほどほどの具体例が示されていること、だと思っています。「ほどほど」というのは、例が簡素すぎると結論とのギャップが大きいために間を補完できない、また具体例が長大だとこれも理解が大変、という意味です。分かりやすさを実現するには、説明に飛躍がなく、対象を俯瞰できる説明をして、良い例を準備することが重要だと思っています。「良い例」の条件としては、興味が湧く、面白い、ということも大事です。私は「笑いを取る」ことはできませんので、「おや意外だな」と感じてもらえれば大成功です。もちろん、簡単にはできませんが、目標にしたいと考えています。



大学で学ぶということ

新任教員からのごあいさつ

医療情報学部 教授 ^{きた}喜多 ^{としこ}歳子



4月に医療情報学部に着任しました喜多歳子です。本州の大学病院に看護師として勤務したのち、保健師として道内の市役所で20年ほど働きました。

保健師は、地域の人々の健康の保持増進のために健康指導を行う仕事です。健康指導の方法の一つに家庭訪問があります。その方のお宅に上がり込んで（時に本人が望んでいなくても）、育児指導や介護指導、健康のための生活指導をすることができます。その方のお家に行くわけですから、家の中の様子を観察して、その方の価値観に合わせた健康管理の方法を考えることができます。指導といいながら、訪問先の方々の豊富な人生経験を聞かせていただき、学ばせていただくことの方が多かったのですが、時には、居留守や玄関先で戸を閉められる経験もありました。そうした中で、相談者が納得できる指導テクニックを学ぶためにコーチングの研修会に参加したことが教員への進路へと舵を切るきっかけとなりました。研修会では参加者がお互いにクライアント（相談者）となって自分自身のことを語ります。すると、子どものころの夢「学校の先生になりたい」が突然よみがえり、研修が進んで、今できることは何かを問われ「大学院の

入学願書を取り寄せること。」それが始まりでした。

すでに絶版になっていますが、20代の頃、「イスタンブールの女」という小説に出会いました。怪しげなタイトルとは裏腹に、「人はなりたい者になっていく」という主題が込められた本でした。内容は部分的な記憶しかありませんが、目先の利益で生きていく哀しさや自分の将来をイメージして過ごすことがいかに重要であるのかを知った一冊でした。コーチングでの決意とイスタンブールの女がリンクして、今の自分につながっていると思っています。

ところで、大学で学ぶことの意義はどこにあるのでしょうか？就職に有利、特別な技術や知識を身につける、友人との出会いやサークル活動、社会に出る前の猶予期間、いろいろな考えがあると思います。私は、看護師と保健師の資格は専門学校で取得しました。その後、大学に行きましたが、大学と専門学校の両方を経験して、その教育内容の違いを実感しています。大学は、何の役に立つのかわからない講義も多いのですが、それによって、想

像することさえなかった世界を知り、視野を広げることができます。また、正解が出ない分野の学問は、多面的に物事を考える力を育ててくれます。一方で、専門学校は「今」使えるノウハウを徹底的に教えてくれます。即戦力を身につけることに関しては、専門学校の方が上かもしれません。しかし、就職してからの数年でその関係は逆転します。特に、社会状況の変化や技術革新がおこると、「過去の」ノウハウは使えなくなります。想定外の問題に対応するには、専門外の知識や技術が必要になってきます。その時、何の役に立つのかわからなかった講義や答えのはっきりしない問題を考えるという経験が生きてきます。大学だからこそできる学びの経験は、変化する社会状況を把握し新たな問題に対応していくためのスキルでもあると考えられます。

今年度の担当科目は、看護学総論と社会医学です。身の回りで起きている事例を紹介しながら、将来に出会うかもしれない問題として考えていただく講義にしたいと考えています。



熱中時代

新任教員からのごあいさつ

経営情報学部 准教授 ^{ふじもと} 藤本 ^{なおき} 直樹



4月に先端経営学科に着任した藤本直樹です。よろしくお願ひします。まだ新米の駆け出し教員ですが、個性的な先生方に囲まれ、親切な職員に支えられて、何とか毎日を乗り切っています。

私は1965年生まれで、ちょうど『新人類』と揶揄された世代です。若い教職員や学生のために補足すると、「こいつらの会話や行動、価値観が理解できない。全く違う新しい人類だ!」という意味です。幼児期にテレビでウルトラマンシリーズが始まり、小学六年生の時に米国からインベーダーゲームが上陸しました。中学生の頃は、全国的に「つっぱり」と呼ばれる不良が蔓延し、高校生になると大学入試に共通一次試験（現在のセンター試験）が導入されました。大学に入るとバブル景気が真っ盛りの時代です。就職して数年たつと、職場でインターネットが利用可能になりました。

大学は、北海道大学経済学部経営学科を卒業しました。学習塾でのバイトに明け暮れ、ほぼ毎日、大学近くの安い居酒屋に繰り出していたため、気が

ついたら卒業までに6年かかっていました（お酒は一滴も飲めませんが…）。大学三年生からは「オペレーションズリサーチ」という、数学的なモデルや解法を用いて意思決定する方法を学ぶゼミに所属しました。向原先生は、ゼミの一期先輩にあたります。

文系の学部なのですが、へたな理系の学生よりも数式やプログラミングを駆使する必要がありました。ともすれば事例の積み重ねによる経験則や、感覚的で曖昧な分析に陥りがちな経営学において、数学や工学の分野の技法を学べた経験は、現在でも非常に役立っています。格好よく言えば、文系の感性や考え方に、理系のアプローチやテクニックが備わったのです。北海道情報大学でも、このような経験を一人でも多くの学生に伝え、文系脳に理系の技術を兼ね備えた人材を育成したいと考えています。

私は、大学を卒業して20年間、建設コンサルタントとして働いていました。聞き慣れない職種かも知れませんが、主に公共事業に関する様々な調査分析、計画検討、設計などを行う仕事です。例えば、高速道路や空港などの社会基盤を整備する際には、需要や効果を分析したり、位置や規模を検討し

たり、事業費を積み上げたり、設計をしたりという何段階もの作業が必要になります。また、近年では地域住民や利用者の意向を加味することが求められ、事業の内容によっては利害や意見が対立することも多いため、関係する住民、行政機関、民間企業等の調整や合意形成も不可欠になります。建設コンサルタントは、このような業務を行政から委託され、プロの技術者として最適な答えを出す仕事です。

私が中学生の時に「熱中時代」という水谷豊さん主演のドラマが流行りました。北海道出身の新米教師が、様々な教育現場の課題に全力で立ち向かう内容です。

皆さんは、いま何かに熱中していますか？ 私は、かつてロックンロールに熱中し、ツイストを踊り狂い、熱いロックな男になりたいと燃えていました。…が、現在では無趣味な中年のおっさんに成り果てています。今回、新たな道を歩み始めたのを契機に教育・研究・社会貢献に全力で熱中し、熱いロックな大学教員を目指したいと思います。ちょっぴりやんちゃでファンキーな青春を謳歌してきたのですから、まだまだ充電十分、パワー満タンです。



北海道初心者です

新任教員からのごあいさつ

情報メディア学部 准教授 ふじわら たかゆき 藤原 孝幸



2013年4月から情報メディア学部に着任しました藤原孝幸です。よろしくお願いたします。

着任に先立ち、3月下旬から道民となった北海道初心者です。それまでは愛知県でして、引っ越しの際に車を持ってくるとき、初めてスタッドレスタイヤを購入しました。北海道の方は意外に思うかもしれませんが、たまに(1シーズンで2回ぐらい)しかノーマルタイヤで運転できなくなるぐらいの雪が降る程度だったので、多くの人がチェーンでしのぎます(もしくはあきらめて公共交通機関を使う)。今年の北海道は異常気象レベルの雪の多さだったようで、3月下旬に引っ越してきたにもかかわらず、最後とはいえ雪シーズンが体験できたので、今年の冬を多少の予備知識を持って迎えることができそうです。父方の実家が鳥取県なので、雪耐性はあった(意外に思われるかもしれませんが、鳥取県は雪が多いです)つもりだったのですが、そもそも量が比較にならないことに驚いています。

一方で、冬の後に来た季節の快適さに非常に感動しています。これまで住んでいた愛知は暑さがすさまじく、さらに多湿であったため、おそらくよほ

どその環境を好きな方以外は、暮らしにくいと感じているのではないのでしょうか(いいじゃないかと思うかもしれませんが、蒸し暑い地域の日中は日陰でも汗が止まりません!)。私的な事ではありますが、この2月に第一子(長女:非常に可愛い)を授かりまして、過ごしやすい北海道にて育児ができることをありがたく思っております(単身赴任にならず着いてきてくれた妻に感謝です)。とはいえ、その後に来る、本格的な冬は未体験ですので色々北海道のことを教えていただけますと幸いです。

これまでの研究はコンピュータビジョン・画像処理に携わっており、本学の学部名称と関連したキーワードで説明すると、映像・画像メディアの解析になります。コンピュータビジョンの起こりとしては、「ロボットを作ろう」という研究における「目を作ろう」という研究です。ここで「目を作る」といっても単純にカメラの機能だけでなく、「目に関連する脳の機能も作ろう」という研究でもあります。

近年は、この「高機能なカメラ」が実際に商品となって世に出てきています。例えばデジタルカメラ(最近ではスマートフォンでも)に搭載された、撮影を楽しむ各種の機能が分かりやすい成果だと思えます。カメラが顔を見つけるという機能が、顔にピントを合わせたり、顔にあわせて全体の色調節をしたりと、撮像の技術的な補助だけでなく、写し出される品質にも貢献しています。また、3D(奥行き情報も)を撮るカメラもより一般的になってき

ており、研究・開発が進んでいます。一般消費者向けだけでなく、産業分野でもカメラを使った検査技術は期待されています。産業用途では、部品や製品の型が新しくなったり、様々な情報取得時の変化があったりと、複雑な環境下での技術の実現が必要とされるため、産学連携の事例も多いです。地域的な貢献としても、北海道の企業と産業応用の研究に取り組んで行ければと考えています。

教育活動においても、研究を通じた取り組みにも力を入れていきたいと思っています。プログラミングに苦手意識を持つ人もいるかもしれませんが、視覚的な表現と関連の深い映像や画像のプログラミングは、良いきっかけになると思います。研究開発の楽しさ(辛さ、厳しさも)を共に味わっていきましょう!



キーボードは
こだわります!

プログラムの感動を

新任教員からのごあいさつ

経営情報学部 教授 ふるかわ まさし 古川 正志



4月にシステム情報学科に着任致しました古川正志です。この冬は長くほとんど春が感

じられないままに初夏となってしまいました。今年は、桜の開花を実感として持てなかったのが残念です。なぜなら、春はいつも新しいスタートであり、この春は私にとっても特に新しいスタートであったからです。

私は、これまで大学院修士課程を修了後、工業高等専門学校（高専）の教員として32年間、その後、大学の教員を7年間務め、この4月から北海道情報大学に赴任致しました。高専では、15歳から20歳迄の若い学生達とかかわり、大学では主に22歳から27歳迄の学生と研究室で共に生活をするような環境でした。従って、18歳から22歳迄の学生と接するのは、また、新たな印象を受けています。

高専時代は、順に、電気工学科、機械工学科、制御情報工学科と異なる3つの学科の教員を経験しました。これは、大学の出身学科が精密工学科であり、当時の精密工学は、機械工学、電子・電気工学、物理工学（今で言うところの機能材料）の3学問を基礎としており、さらに、それらの上にシステム工学（当時の制御工学）を総合的に学んだためです。

卒業研究では、自動設計学の研究室に配属されました。これが私とコンピュータの長い付き合いの始まりとなりまし

た。そのころの研究室では、世界に先駆けて3次元CADの開発を行っていました。今では当たり前となった3次元CADは、当時では画期的で、多くの企業からは夢物語と言われた時代です。

最初に利用したコンピュータは、OKITAC 5090と名付けられたトランジスタのコンピュータで、大事そうに恒温室に鎮座していました。信じられないでしょうが、このコンピュータは、最初にトグルスイッチでブートストラップを手入力し、その後に、紙テープでモニタープログラムを読ませて、初めて動く代物です。多くの先輩は、機械語で紙テープにプログラムをパンチしていましたが、私達の時代には、ALGOL67の言語が使用できるようになっていました。最初のプログラムは、紙テープにbeginで始まりendで終わるALGOLの簡単な計算でした。1回の計算は、モニタープログラムを読ませた後に、ALGOLのコンパイラプログラムを読ませて、それから、作成したプログラムを読ませるのです。エラーがあるとその部分をパンチし直し、間違ったプログラムの部分を切り取って、修正部分を糊で貼付けたものでした。それでも、はじめて自分で作ったプログラムが答えを出してくれたときは、感動したものでした。この感動が、いままでの私を支えてきたともいえます。

コンピュータについて述べると、FORTRANを用い紙カードでパンチしたFACOM230（主記憶40KB）、初めてDOSで動いたMINI-CON OKITAC 4500C（主記憶4KB）、IBM360/178、32ビットMINI-CON（当時はスーパーミニコンと言われた）MELCOM 80、PRIME 400と

RIME-NET、IBM4030とSNA、初めてのEWSであるAPPOLO DOMAIN DS6000とイーサネット、NECTK8080キットとBASIC、MAC CLASSIC、IBM5050、IBM6000、…、と常に時代の先駆けのコンピュータを使用してきました。機械語を駆使した先輩達を第一世代のユーザーとすれば、私達は、恐らく第二世代のユーザーであったかと思います。40年前に購入したSONY TECHTORONIKSのグラフィックス・ディスプレイは1000万円、EWSが世に出るまえのカラーグラフィックスディスプレイは、600万円しました（CADの研究には必要だったのです）。

これらに比べると今の時代はコンピュータ資源にどんなに恵まれているかが分かります。数万円でこれらに匹敵するコンピュータが容易く手に入るのですから。

北海道情報大学では、離散数学Ⅰ及びⅡ、数値計算、コンピュータシステムⅠを担当することになりました。これらの科目はいずれも基礎的なものですが、離散数学や数値計算はいまでも実際の研究や商業用のプログラムで隠れた所に利用されています。実際にどこで使用されているかは、講義を聞いて下さい。

趣味は、フェンシング、テニス、そして、宮城谷昌光を読むことです。週1回程でしたらフェンシングを教えます。



日本は世界に名だたるミステリ大国

新任教員からのごあいさつ

経営情報学部 准教授 もろおか 諸岡 たくま 卓真



4月より先端経営学科に着任した諸岡卓真です。今年度は新入生向けの共通教育講義「ビギナーズセミナーⅠ・Ⅱ」「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は高校生までは福島県で過ごし、大学の4年間は東京の早稲田大学第一文学部で勉強をしました。その後、北海道大学大学院文学研究科に進学し、日本文化や日本文学の研究を行いました。

私の研究領域は、推理小説やミステリと呼ばれるものです。学生のみなさんには、『名探偵コナン』や『相棒』のような、謎解きを楽しむための物語といった方が伝わりやすいかもしれません。現代の日本では、小説に限らず、マンガ、アニメ、ドラマなど、メディアを問わずミステリが好まれています。日本にいとそれが普通だと感じられるかもしれませんが、実は世界的に見るとかなり「ヘン」だということがわかります。日本ほどハイレベルなミステリを大量生産・大量消費している国はありません。実は、日本は世界に名だたるミステリ大国なのです。

しかし、従来の日本文学研究ではこの分野について積極的には取り上げて

きませんでした。なぜなら、夏目漱石や芥川龍之介といった、いわゆる「純文学」を研究するのが主流だと考えられていて、娯楽を目的とした「大衆文学」は研究対象になりにくかったからです。その結果たとえば、研究発表会でミステリを取り上げた際に、有名なミステリ作家の名前を挙げても反応がなかったり、きょとんとされてしまったりすることもありました。そのため、私の研究活動は、ミステリについて深く掘り下げていくのと同時に、そのような専門的な情報をわかりやすく伝える方法を模索していく過程にもなりました。限られた時間や字数のなかで、自分が考えていることをいかに効率的に伝えられるか、どのような話題をどのような順番で説明すれば多くの人に理解してもらえるかを、知らず知らずのうちに訓練することになったのです。

その効果は意外なところに現れました。私は大学での研究活動と並行して評論活動も行っています。文庫本の解説や雑誌の書評欄などに、ミステリの作品紹介やレビューなどを書いているのです。これらは一般向けの出版物ですから、学会での口頭発表や論文以上に、誰に読まれるかわかりません。そ

のようなときに、先述のノウハウが役立ちました。その後北海道内のいくつかの大学で非常勤講師を務め、ミステリの講義だけでなく文章表現の講義を持つことができたのも、今から思えば、研究を始めた当初の苦い経験があったからだと思っています。さらにはその経験が、本学着任にもつながったわけですから、どこで何が役に立つか本当にわからないものです。

私が学生のみなさんの力になれることは二つあります。一つは、文章表現能力を上げることです。本学はITの専門技術者育成を特色にしていますが、扱う対象が専門的になればなるほど、それを平易に説明する力が必要になっていきます。そのような能力を育成するため、担当講義では、自らの経験を交えながら文章の書き方を伝えていきたいと思っています。もう一つは、サブカルチャーに関する情報の紹介です。ミステリが中心ではありませんが、サブカルチャー領域についての情報を知りたい場合は、私の研究室に来てください。文献や作品などを紹介したり、議論をしたりといった形で、みなさんの力になれると考えています。



ロケット・オタクの人生です

新任教員からのごあいさつ

経営情報学部 教授 わかまつ 若松 よしお 義男



4月に経営情報学部に着任しました若松義男です。新設の宇宙情報システムコースにおきまして、今年の後期から「宇宙への挑戦」、「宇宙工学基礎」の講義を担当する予定です。今回、新任のご挨拶の機会を得ましたので、簡単に自己紹介と抱負を申し上げたいと思います。

ここに参ります以前は、宇宙航空研究開発機構、通称 JAXA に勤務しておりました。JAXA が発足する以前の科学技術庁航空宇宙技術研究所から数えますと、大学を出て約40年間、ロケットエンジンなどの研究開発の仕事に従事して、一言で言えば、「ロケット・オタク」の人生を歩んで参りました。

この道に入りましたきっかけは、中学生の時、米国のジョン・グレンによる有人飛行のニュースに心を躍らせたことです。当時の米国は、ジョン・F・ケネディ大統領が1960年代に月に人類を送ると宣言して、宇宙開発を精力的に進めておりました。彼の演説で、「月を目指すのは、それが困難だからだ」というくだりは格好よく、感動いたしました。

新人研究員から幾星霜、再雇用となり、山のようにあった管理職の雑用から解放され、日々、研究三昧の生活を送っているところに、人事部長から「北海道情報大学で宇宙関係の入門講義を受け持つ人を募集している。」と電話がありました。妻に伺いを立てたら、「やってみたらいいじゃないの。」とのお託宣でしたが、「私も一緒に行くから」の一言はありませんでした。情報関係の大学ということで、ちょっと躊躇はしましたが、「宇宙技術関係の入門講義」ならばと、応募いたしました。

大学で教鞭をとる気になったのには、二つの理由がありました。曾野綾子さんの随筆が好きなのですが、彼女は途中で「人間はいくつになっても、働ける内は働くべきだ」と述べております。その考えに同調して、機会を頂けるならお役に立ちたいと思ったのが一つ。もう一つは、今の大学教育に疑問がありましたが、批判するばかりではなく、機会が得られるのなら、自分の実践としてやってみようと思いついたことでした。

私の後に研究所に入る新人は、修士、博士が当たり前の時代になりました。管理職の時、博士号を持つ流体力学の研究

者が、風洞試験用の模型を作り、風洞に入れたところ、たちまち吹き飛んだということがありました。高額な風洞修理費を請求されたらえらいことになるかと青くなりましたが、鷹揚な部長さんは、「いや、うちのほうで直しますから」と言って下さり、胸をなでおろしました。

研究者本人に模型の図面を見せてもらったら、強度計算をやるまでもなく、一目で「壊れるだろうな」と直感できるひ弱な形状寸法でした。なぜこうなるのか。結局、大学の学部が、大学院の研究者養成の予備校と化して、学部では研究コースに直接関係のない科目の勉強（彼の場合は材料力学）を疎かにしてきたからというのが私の出した結論でした。

工学や自然科学の研究というのは、モノやサービスを生み出す分野とは異なる世界です。大学から送り出すのが研究者だけで、学部だけで卒業した学生は社会に出て頼りないのでは困ります。そのようなこともあって、学部できちんと勉強して、社会で役に立つ人材を育てたいというのが私の願いです。どれほどできるかわかりませんが、この目標に向かい、学生の皆さんと一緒にやってゆきたいと思います。どうかよろしく願います。



北海道情報大学 大学説明会 企業・病院説明会 開催



大学説明会・学生研究発表



大学説明会・学生研究発表



情報交換会・学生ポスターセッション

平成 25 年 6 月 10 日 (月) に京王プラザホテル札幌において、医療機関、民間企業、高校関係者を対象とした「北海道情報大学 大学説明会」、また、同日に、就職活動中の学生を対象とした「北海道情報大学 企業・病院説明会」を開催しました。

「北海道情報大学 大学説明会」では、今年度実施した改組改編の説明、新学部・新コースの紹介、学生研究発表、その後の情報交換会ではヨサコイ演舞、学生ポスターセッションが行われました。合わせて 168 団体 230 名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

学生研究発表では、「血液型からみた人類移動の歴史を推察する」(経営情報学部医療情報学科 4 年 金田唯さん)、「自己管理能力の向上支援」(情報メディア学部情報メディア学科 4 年 成田陽介君)、「SDN を構成するネットワークサービス間の連携を実現する方

式に関する研究」(大学院経営情報学研究科 2 年 高橋基君) をテーマに発表が行われ、学生ポスターセッションでは、各学科 8 名の学生が「江別市のバス調査」「トマムプロジェクト」「GPS 等を使った携帯アプリケーション」「遺伝子検査」の説明を行いました。

また、合同企業説明会形式で行われた「北海道情報大学 企業・病院説明会」は、就職活動中の学生が参加し、各ブースにおいて概要や特色、求人内容や採用日程等を伺いました。企業と病院合わせて 22 団体に参加していただき、学生は熱心に採用活動の説明を聞いていました。



企業・病院説明会

学生サポートセンターから

学生サポートセンターでは、就職活動中の学生をサポートしていきます！粘り強く取り組みれば必ず結果はついてきます。これまでの就活を振り返ってヒントが欲しい時は、ぜひ学生サポートセンターに相談に来てください。また、未来の就活生の皆さんは、世の中にどんな仕事があるのか？という視点で毎日をご過ごしてみましょ。新たな発見があるかもしれません。学生サポートセンターの就職コーナーには、各種 DS ソフトや就活関連本を取り揃えています！ぜひ一度足を運んでみてください。

「第4回 留学生の日本語弁論大会」の報告



去る6月8日土曜日の午後に「第4回 留学生の日本語弁論大会」が実施されました。ヨサコイソーラン祭りも同じ週末に開かれていましたが、幸いにも多くの聴衆の方が来てくださいました。

今や恒例となった本大会は、留学生の日本語力の向上と、日本文化への理解を深めてもらうため、そして留学生の日本語力や活動の状況を教職員及び学生の皆さんに知っていただくことを目的に開催されております。

今年の発表者は、3年次編入の情報メディア学部4年生19名と、1年次から編入の情報メディア学部4年生1名の合計20名でした。最初に外国人留学生委員会の委員長である玉置先生からご挨拶を頂きました。留学生は5分間の発表のあと、審査員からの質問に答えるという例年と同じ形式で行われました。審査委員長は飯嶋先生、審

査員は他に玉置先生、田中（里）先生、私の合計4名でした。

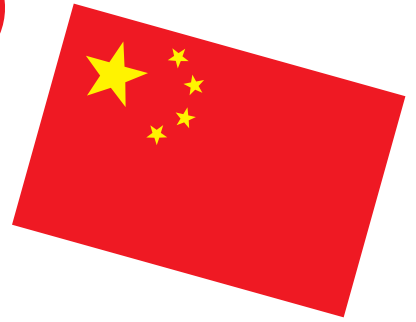
今年の最優秀賞は、「私の日本での生活」というタイトルで発表した徐一宸さん（山北ゼミ）でした。これまでの日本の生活の思い出を、誠実に感情を込めて発表しました。そのときどきの情景が目浮かぶような見事な発表に、聴いている私たちも彼の思いを共有することができたように思います。日本語での発表力が特に優れていたとは言うまでもありません。



徐一宸さん「私の日本での生活」

優秀賞は、藤云さん（タイトル「日本と中国の家族の違い」、大島（直）ゼミ）と、喻跃波さん（「数字に対する中国と日本の好き嫌い」、大島（慶）ゼミ）と、肖珂さん（「留学の良し悪し」、隼田ゼミ）。努力賞は鍾鈺さん（「レトロブームはなぜ現代のデザイン界に魅せられるのか」、川上ゼミ）と、蔣文さん（「いろいろアニメを見た感想」、岸田ゼミ）、高昕さん（「青春物語」、安田ゼミ）、田翰杰さん（「スーパーナチュラル」、隼田ゼミ）、夏寿森さん（「性格は猫系？犬系？」、川上ゼミ）でした。惜しくも入賞を逃した学生たちも一生懸命発表していて、たいへん好感が持てました。そして今後さらに努力を続けて欲しいと感じました。

個性的な発表として、喻跃波さんは熱心に板書までして、数字に対する両国の見方の違いと共通点を説明してくれました。



経営情報学部 教授 竹内典彦



喻跃波さん「数字に対する中国と日本の好き嫌い」

また肖珂さんは、留学の良い点と悪い点の比較を通して、留学についてのより深い視点を私たちに提示してくれました。鍾鈺さんは、レトロブームというデザイン界の1つの潮流を論理的に発表してくれました。高昕さんは、自身の過去の交友関係をよい思い出として率直に語ってくれました。夏寿焱さんは、自作のフリップを提示して、「あなたは猫系ですか？それとも犬系ですか？」と聴衆に問いかけ、会場の雰囲気をもたせました。

日本文化という視点では、アニメについて発表した学生が複数いて、日本のアニメの影響力が小さくないことを

窺わせました。他にもドラマや家族、飲食、乾杯の仕方等の日本と中国の相違点について語ってくれる人もいて、たいへん興味深く聞かせてもらいました。

留学生が感じていることとして、留学の持つ肯定的な面だけでなく、日本人の友人がなかなかできない等の課題が指摘されたことはたいへん印象的であり、私たち関係者が見過ごせない点です。富士学長もご挨拶の中で、「日本人学生と交流を深めてほしい」と話されていましたが、いろいろな場面で両国の学生の交流が今以上に深められる必要があることを感じました。



留学生の日本と日本文化に対する視点にはいつも新しい発見があり、ときには驚かされることもあります。両国間には様々な課題もありますが、このように交流を進めることで、特に若い世代での相互理解が深まるのではないのでしょうか。その点で、日本人学生にもっと大勢参加してもらえようような仕組みを考えていく必要があると思います。

最後になりますが、今回聴衆としてご参加いただいた富士学長、和田副学長、近藤事務局長をはじめとする皆様方、また大会運営に全面的にご協力いただいた留学生支援室の今長室長や森さん、小黑さん、学生の皆さん、好評の大会ポスターを作成いただいた海老澤さんと指導にあられた隼田先生、様々な形で大会をご支援いただいた関係者の皆様にも心から感謝を申し上げます。今後も留学生と弁論大会にご支援をいただけますようお願いして、報告に代えさせていただきます。

第4回 留学生による日本弁論大会 受賞タイトル一覧

賞	氏名	論文タイトル	ゼミ名
最優秀賞	徐一宸	「私の日本での生活」	山北ゼミ
優秀賞	滕云	「日本と中国の家族の違い」	大島(直)ゼミ
〃	喻跃波	「数字に対する中国と日本の好き嫌い」	大島(慶)ゼミ
〃	肖珂	「留学の良し悪し」	隼田ゼミ
努力賞	鍾鈺	「レトロブームはなぜ現代のデザイン界に魅せられるのか」	川上ゼミ
〃	蒋文	「いろいろアニメを見た感想」	岸田ゼミ
〃	高昕	「青春物語」	安田ゼミ
〃	田翰杰	「スーパーナチュラル」	隼田ゼミ
〃	夏寿焱	「性格は猫系？犬系？」	川上ゼミ





本学 eDC タワーで 保護者の会役員会を実施しました。

開会にあたり、富士隆学長から保護者の会に対するお礼を含めた挨拶と本学の現状等についての説明がありました。

その後、1年生の保護者からの新規役員 5 名を選任し、出席者から自己紹介が行われました。

次いで大学からの現況・行事等の報告として、中居常務理事から大学の概要についての説明がありました。続いて、中村就職部長から平成 24 年度卒業生の就職率及び平成 25 年度の就職指導スケジュールについて、梅津学生部長から学生生活について、学生サポートセンター事務室長から平成 25 年度の学生生活指導の行事についてそれぞれ説明がありました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員の皆様と学生生活・就職活動状況などについて懇談が行われ、ご子弟にかかる期待と愛情のこもった話し合いに、瞬く間に時が過ぎ、

会を終了しました。

役員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。



本学大学院生が道内2つの ビジネスコンテストで入賞しました!

第8回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)北海道で「奨励賞」受賞!

2012年12月12日に決勝プレゼンテーションが行われた「第8回キャンパスベンチャーグランプリ北海道」にて本学修士課程1年(発表時)の新川貴彬君(安田研究室)と清野和宏君(向原研究室)が「奨励賞」を受賞しました。

キャンパスベンチャーグランプリ北海道は、国内最大の学生ビジネスコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ」の北海道ブロックです。
<http://www.cvg-nikkan.jp/index/hokkaidou/>

○受賞プラン: ビジネスアイデア共有サイト「ICuBe- アイキューブ-」

Twitter など SNS のタイムライン上には、日々様々なビジネスアイデアのタネが書き込まれています。このプランでは、それらビジネスアイデアのタネを1つのWebサイトに集約し、アイデアのタネをユーザ同士で共有し、育てることができます。そして、最終的にアイデアを事業として「実現」させたり、企業に「売る」ことができる仕組みを提供し、収入を得るものです。

sapporo ideas city クリエイティブビジネスコンペで「北海道ニュービジネス協議会 会長賞」受賞!

2013年3月8日に決勝プレゼンテーションが行われた「sapporo ideas city クリエイティブビジネスコンペ」にて、本学修士課程1年(発表時)の新川貴彬君(安田研究室)が「北海道ニュービジネス協議会 会長賞」を受賞しました。

このコンペは、音楽、アート、映像、ファッションなどの分野を対象に、札幌の魅力を活かした革新的なビジネスアイデアを募集し、クリエイティブ産業に携わる人材を発掘することを目的としています。

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/creative/business.html>

○受賞プラン: AR 技術を活用した札幌市の観光促進の提案

バーチャルアイドル『VOCALOID 初音ミク』は、札幌市の観光大使でありながら、市内に会える場所もなく、大使として活用しきれていない。そこで、スマートフォン向け AR カメラアプリを開発し、初音ミクを「会いに行けるアイドル」へ進化させることを提案した。市内に初音ミクに「会える場所」をつくり、世界からファンを集め、札幌に新たな観光名所を提供するプランです。

新川貴彬君のひとこと

昨年度は様々なビジネスコンテストに応募してきたのですが、そこで私が得られたものは「人脈」です。コンテスト終了後の懇親会で、プレゼンターの方々や、企業の社長さんなど、北海道のビジネスに関わっている大先輩達にお会いすることができました。これがきっかけで、私も将来的には起業して北海道を元気にしていけるようなビジネスを手掛けたいという目標を持つことができました。是非、この記事を読んでいる学生達も積極的にビジネスコンテストに参加することをお奨めします。きっと、自分の新しい可能性に気づけるはずです。



第8回 CVG 北海道・授賞式



クリエイティブビジネスコンペ

北海道情報大学大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻(修士課程)学生の学会発表について

2013年 電子情報通信学会 総合大会(於: 岐阜大学)			※学年は発表時
3月20日	黒田 学	ネットワーク技術プログラム	修士課程2年
	「スマートデバイスに対応した学内LAN向けネットワーク認証統合システムの開発」		
	高橋 基	ネットワーク技術プログラム	修士課程1年
	「SDNにおけるネットワークユーザ認証の実現方式に関する研究」		
日本情報経営学会 第66回全国大会 (於: 群馬大学)			
5月25日	清野 和宏	ビジネスプランプログラム	修士課程2年
	「北海道看護職員満足度調査の定量分析」		

第23回 体育祭報告



体育祭実行委員会
委員長 佐藤 佑起 さん

例年開催しています体育祭ですが、今年度も6月21日、22日に行われ、総勢391名の方にご参加いただきました。参加された、学生や教職員の方々のご協力もあり、大きな事故も無く、無事終えることができました。

準備期間中は競技のエントリー受付、交流会の準備など慌ただしい日々ではありましたが、委員長に就任して初めての大きなイベントという事もあり、緊張感をもって臨みました。今回はそんな慌ただしかった2ヶ月間についてご報告します。

「今年は昨年よりも多くの学生に参加していただけて、学生実行委員会スタッフとして頑張って準備した甲斐がありました——。」

今回の体育祭は年々減少傾向にある参加者をいかに増やしていくかをテーマに準備してきました。その取り組みの一つとして、人気種目であるドッジボールをあえて外し、小学校の運動会などでおなじみの綱引きを取り入れてみました。当初の目標である競技参加数を増やすという目標から外れてしまったことから前日まで不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、競技当日になると教職員の方々積極的に参加し、学生たちと大変盛り上がる試合を見せ、更には参加して頂いた方から「とても面白かった。この参加人数ではもったいないくらいだ」というお言葉をいただき、来年度以降は更に参加数が増加

する見込みが出てきたことで、今回挑戦に踏み切って間違いではなかったと感じました。

2つ目の新しい取り組みはエントリーした学生に参加賞を配布したことです。この取り組みは急遽決まったことだったので飲料水のみとなりましたが、来年度以降も参加賞を準備するための足がかりをつくることができ、次回開催に向けてよい影響であったと思われます。

体育祭当日は両日とも天候に恵まれず決して良いコンディションではなく、また、その日の天気予報を確認したところ小雨の予報でしたので競技を決行するか取りやめるかの判断がとても困難でした。

しかし、今年の学生実行委員会のメンバーにはスポーツ経験者が多かったことと、何より体育祭を楽しみにしている方々のため決行するという判断に至りました。

1日目ではソフトボール、バレーボール、卓球、ソフトテニスの競技を行いました。ソフトボールでは参加チーム数の上限よりも多くのエントリーをいただき、今年1番の盛り上がりを見せていました。2日目はサッカー、綱引き、バドミントンの3種目を行い、競技終了後には交流会を行いました。

競技中は1日目よりも天候が芳しくなく屋外競技を一時中断せざるをえなく、その影響で交流会も規模を縮小するなどの判断が必要で、天気行く末を見守るような状況でしたが中断をして20分ほどで雨がやみ始めたので少し遅れたものの、そのまま競技も交流

会も予定通り行う事ができ、とても安堵しました。

交流会では、当委員会の想像をはるかに超える参加者で、受付の列が一時は廊下の端から端までになりました。交流会が始まってからは閉会式を行い、その後大きな混乱も無く体育祭閉幕を迎えることができました。

そして交流会に参加していただいた方々の中に競技で優秀な成績を取ったチームやおしくもそれに届かなかったチーム、また交流会のためだけに来ていただいた方など様々な人たちがいましたが、参加者全員笑顔で交流会に参加しているのを見て私もとてもうれしい気持ちになりました。

体育祭全体を通して今年は昨年よりも多くの学生に参加していただけて、学生実行委員会スタッフとして頑張って準備した甲斐がありました。また天

気の影響をととても受けやすい体育祭で多少予定がずれたところもありましたが最終的には予定通りの時間で終了しました。そのために動いてくれた仲間たちや急な時間変更にも快く対応していただいた参加者の方々には感謝してもしきれません。

今回の体育祭は学生実行委員会の仲間たちと参加していただいた学生の力がなければ成り立たなかったものでしたので、学生実行委員会を代表して、厚くお礼申し上げます。

これからは蒼天祭の準備が本格的に始まり、これまで以上に忙しい毎日が始まりますが、今回で得た沢山の経験や反省を生かし今後とも学生実行委員会生一同蒼天祭の成功に向け努めていきます。これからも学生実行委員会の活動にご支援のほど宜しくお願い致します。



私たちの情報大学の夏手には

広大な野幌の原始林が広がり

キャンパスには  が走り回ります

夕方。すこし涼しくなった頃

シャボン玉をしよう!

 お友達があつまった

みんなの夢を乗せた

とりどりのシャボン玉は

原に吹かゆて舞い上がり

原始林の空に飛んでいった

動物たちも眺めているかなあ

さて次は

デザインの時間です。

観光情報学会第 10 回全国大会優秀賞、 第 6 回研究発表会奨励賞の W 受賞



▲観光情報学会第 10 回全国大会優秀賞 表彰式の模様 齋藤 一 准教授 (左)



▲第 6 回研究発表会 奨励賞 表彰式の模様 新妻慎太郎 さん (左)

「W受賞について」 ———— 情報メディア学科 准教授 齋藤 一

平成 25 年 6 月 15 日～ 16 日、北見工業大学において観光情報学会第 10 回全国大会 [1] が開催されました。

観光情報学会は、観光学・情報科学技術に関する学術的視点と観光産業の融合を目指し、様々な活動をしています。本年は 10 周年記念の大会ということで全国から観光情報学に関わる研究者や観光従事者が北見工業大学に集い、発表や議論を行いました。

その中で私は「江別まち歩きシリアスゲーム『BRICK STORY』の開発」と題して講演を行い、優秀賞を受賞することができました。また同大会中に行われた表彰式では、昨年 12 月に大阪観光大学にて開催された観光情報学会第 6 回研究発表会 [2] で講演したシステム情報学科の新妻慎太郎君（平成 25 年 3 月卒業、現在本学研究生）の奨励賞の表彰も行われました。

江別まち歩きシリアスゲーム「BRICK STORY」は、昨年度江別市大学連携学生地域活動支援事業として、大

＜第 10 回観光情報学会全国大会で表彰された本学の研究発表＞

第 10 回観光情報学会全国大会 優秀賞

「江別まち歩きシリアスゲーム「BRICK STORY」の開発」

齋藤一、阿部裕介

第 6 回研究発表会 奨励賞

「唾液アミラーゼに基づく温泉入浴によるストレス軽減効果の検証」

新妻慎太郎、岩本拓門、佐々木穂果、橋本和哉、長尾光悦、齋藤一

学院生の阿部裕介君（平成 25 年 3 月修了）を中心とした学生プロジェクトにより開発を始めました。

スマートフォン等の携帯端末の位置情報を利用し、江別の観光スポットに赴くことでシナリオが進んでいくノベルゲームとなっています。

BRICKSTORY は、昨年度の情報処理北海道シンポジウムでの阿部君の優秀ポスター賞、北海道学生アプリコンテストの奨励賞に続く、3 つめの受賞となりました。尚、BRICK STORY は 3 つのシナリオから構成されていて、本年夏には最後の 3 つめのストーリーを公開

する準備をすすめています。Web サイト [3] で公開しますので、是非、ゲームを楽しんでみて下さい。



▲「BRICK STORY」ポスター



また、新妻君が発表した「唾液アミラーゼに基づく温泉入浴によるストレス軽減効果の検証」は、システム情報学科の長尾光悦准教授と私のゼミとの共同プロジェクト（メンタルヘルスツーリズムプロジェクト、略称 MHTP）で研究をすすめてきました。

MHTP では、科学的なアプローチで『観光』と『ストレス』の因果関係を明確にしようと活動しています。

MHTP は、「科学的根拠に基づくメンタルヘルスツーリズムの実現に向けた観光行動における癒し効果の分析」として、今年度の本学学内共同研究に採択され、長尾先生を中心に、医療情報学科の松田成司准教授、情報メディア学科の大島直樹准教授を加え、昨年度より更に詳しく研究を進めています。

[1] 観光情報学会第 10 回全国大会講演

プログラム、

http://sti2013.sti-okhotsk.org/gaiyou/oral_program

[2] 観光情報学会 表彰者一覧、
<http://www.sti-jpn.org/award>

[3] BRICK STORY、
<http://sherry.do-johodai.ac.jp/bs/>



隔週で開催している MHTP の会議の様子



MHTP で脳波測定装置のテスト中の様子



撮影は札幌市内や江別市内など各地で行われました。撮影期間は12月の23〜26日、1月の5日と年をまたぐ大がかりな撮影となりました。撮影する中で大変だったことは、外の気温の低さです。もちろん身体が寒くてつらいということも大変だったのですが、それよりもカメラレンズが曇ってしまったり、モニターが起動してくれなかったりなど、撮影時間が押ししてしまったことがかなり大変でした。しかしその中でも5日間の撮影を経て、無事に全ての撮影を終了することが出来ました。

撮影後は編集作業を行ったり、上映会に向けて準備したり、まだまだやることは多く残っていました。連日深夜まで研究室に残り編集や話し合いなどを行い、より作品の質を高めて行きました。皆で撮った映像のかけら一つ一つが集まり、一本の映画として出来上がった瞬間は、色々な思いがこみ上げてとても感慨深いものがありました。



今回、その苦労を重ねた「輝け！ジョンブリアン」が札幌国際短編映画祭でオプシアタープログラムへ入選、北海道映像コンテストでは奨励賞の受賞を成し遂げました。

札幌国際短編映画祭は全世界から3000本以上の作品が応募され、ノミネートされる作品はわずか200本という非常に狭き門で、その中で私たちが入選できたということはとても光栄なことだと思います。また今回の「輝け！ジョンブリアン」は札幌国際短編映画祭への入選を目標としていたので、目標が達成されたことを非常に嬉しく思いました。

北海道映像コンテストは、北海道映像関連事業社商会という団体が運営する、映像関連事業の健全な発展を目的とするコンテストです。企業の作品が多い中、私たちの作品は、学生部門で奨励賞を受賞することが出来ました。ドキュメンタリーの作品が多数を占める中、短編映画というジャンルで私たちが受賞出来たことをとても嬉しく思います。

今回の「輝け！ジョンブリアン」の制作によって私たちは多くのことを経験し、たくさんの方にご協力をいただきました。普段生活していると接することのない企業の方や団体の方と接することが出来て本当に刺激になりましたし勉強になりました。皆が一生懸命に映画制作を行ったからこそ、今回の受賞に結びついたと感じています。そして私たちはプロデューサーとしてこの作品をもっと世の中に広めていきたいと思っています。情報大の教職員の方々および関わってくれたすべての方に感謝しています。有難うございました。



ふざけるんじゃないよ！



輝け! ✨

ジヨンプリアン

北海道映像コンテスト2013 学生部門 奨励賞 受賞
第8回 札幌国際短編映画祭 オフシアター入選 ✨

情報メディア学科
島田ゼミ4年

小野 立太郎
渋田 敬佑



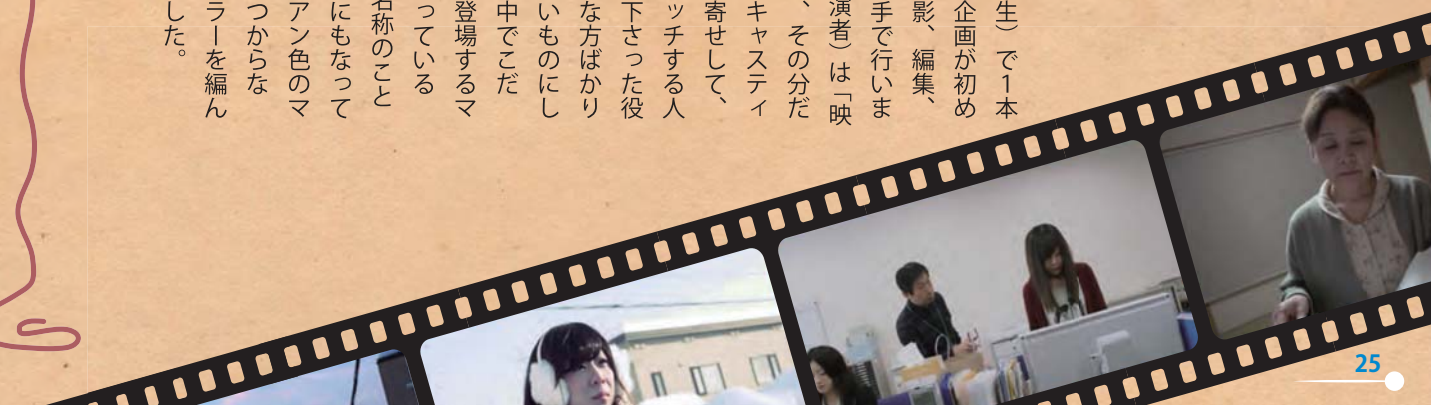
今回、島田ゼミの4年生(当時3年生)を中心に昨年10月から今年の3月まで約5か月間をかけて制作してきた短編映画「輝け!ジヨンプリアン」が第8回札幌国際短編映画祭に入選、更に北海道映像コンテスト2013にて奨励賞を受賞することが出来ました。今回の企画の中で私たち二人はプロデューサーを務めました。

作品のテーマは「人とのつながり」です。私たちは普段暮らしていく中で自分以外の誰かと必ず繋がっています。時には素直になれず、周りの人との繋がりを大事に出来ないこともあります。その中で人と真っ直ぐ向き合うことの大切さを映像に起こして、今一度「人とのつながり」について考えてみてほしいと思います。制作しました。

映画のあらすじ

地域見守りサービスの新人職員である「佐々木ゆかり」は、担当区域に住むお年寄りの「神崎トヨ」の家を訪問することとなる。初めは信頼を得られず、トヨはなかなか心を開いてくれない。そこからゆかりがトヨと仲良くなる為に色々な手を尽くして信頼関係を得ようと努力をする。

ゼミの学生全員(当時3年生)で1本の映画を作るというのはこの企画が初めてで、役割決めから交渉、撮影、編集、上映会まですべて自分たちの手で行いました。私たちはキャスト(出演者)は「映画の要」であると考えており、その分だけ慎重に選びました。様々なキャストイングオフィスから資料を取り寄せて、その中で監督のイメージとマッチする人を探しました。今回出演して下さった役者の方は非常に演技力が豊かな方ばかりで、私たちの映画をとんでもないものにしてくれたと思います。作品の中でこだわっていた点は小道具として登場するマフラードです。タイトルにもなっている「ジヨンプリアン」とは色の名称のことです。この作品のキーアイテムにもなっています。しかし、ジヨンプリアン色のマフラードを置いているお店が見つからなく、最終的に自分たちでマフラードを編んで手作りしたものを使用しました。



第22回 YOSAKOIソーラン祭り 2013

2003年以来、出場を続けている「江別まっことええ&北海道情報大学」チームが、6月5～9日にわたり、札幌市の大通公園などで鮮やかな舞を繰り広げました。今回は一次審査員賞にとどまりましたが、情報大からは総勢44名(男子33名、女子11名)が参加、チームを盛り上げました。



大通南コースパレード



大通南コースパレード



地方車



大通8丁目ステージ



大通8丁目ステージ



大通南コースパレード

Library News

特別展示について

図書館では、本年4月より継続的に特別展示を行っています。展示スペースは図書館4階情報検索コーナー横です。4～5月は「新入生応援！」と題し、一人暮らしに役立つ本や、大学生が登場する小説などを展示しました。6月からは、「映画化した本」と題し、近年映画化した本とそのDVDを展示しています。今後も皆さんに興味を持ってもら

えるような、テーマを設定しようと思っています。通常通り貸出や予約も行っていきますので、皆さん、ぜひご覧ください。



図書館賞について

図書館では、第6回図書館賞の作品を募集しています。詳細は下記ポスター、図書館HPをご覧ください。皆さんのご応募をお待ちしています。

第6回(2013年度)北海道情報大学
図書館賞
作品募集

第1部門：読書感想文
第2部門：小論文

◎テーマは両部門とも自由とする。
応募は2部門の内どちらか1部門とし、1人1作品とする。

■提出締切
2013年9月30日(月)17時30分

■副賞(両部門)

最優秀賞	1名	(3万円分図書カード)
優秀賞	2名	(2万円分図書カード)
佳作	3名	(1万円分図書カード)

応募要領、過去の受賞作品は
図書館HPをご覧ください。
<http://www.do-johodai.ac.jp/library/>

北海道情報大学図書館
<http://www.do-johodai.ac.jp/library/>
Yamato Hoshikawa@do-johodai.ac.jp

平成25年度 新入生宿泊研修報告

平成25年4月5日(金)～6日(土)の2日間、スタートアッププログラムの一環として、札幌市内の定山溪万世閣ホテルミリオーネにおいて、平成25年度新入生宿泊研修が行われました。当日は新入生445名と教職員および学生スタッフをあわせて総勢500名が17台のバスに分乗し、宿舎へ向かい、二日間のプログラムに参加しました。

この宿泊研修は、4年間の大学生生活を有意義に過ごすためのいわゆる「友達作り」が一番の目的であり、その一助となっています。当日は、大学生としての心得やキャンパスライフの楽しみ方などについて、担当教員から指導を受け、また、学生実行委員会(先輩学生)主催の何でも相談会「よろず

相談」では、授業内容やカリキュラム、クラブ・サークルについて、普段なかなか聞くことのできない同年代ならではの質問もあり、4年間を過ごす上で貴重な情報を吸収している学生も見受けられました。

研修終了後のアンケートでは、今回の研修で「友達ができた」「話ができるようになった」との回答が多く寄せられたほか、この研修全体が大学生活を始める上で大いに参考になったとの声も寄せられました。

また、「自由時間がもう少しあっても良かった」など、スケジュールについての要望もあったので、今後の検討課題とし、次年度に向けて充実を図りたいと思います。



当日のスケジュールは下記の通りです

4月5日(金)
▼午前 大学にて
クラブ・サークル紹介イベントに参加
▼午後 ホテルへ移動
【クラス別ミーティング】16:30～17:30
【夕食】18:15～
【全体会】19:45～20:15
【先輩とのよろず相談】20:40～22:00

4月6日(土)
【クラス別ミーティング】9:00～10:00
終了後 バス乗車、大学到着、解散

写真部 部員募集中!



写真部

—しゃしんぶ—

Photos by Takahito Tsujino

2012年の主な活動

カメラが無くてもOK!みんなで楽しく活動しています♪

撮影会

～小樽～

撮影会

～美唄&三笠～

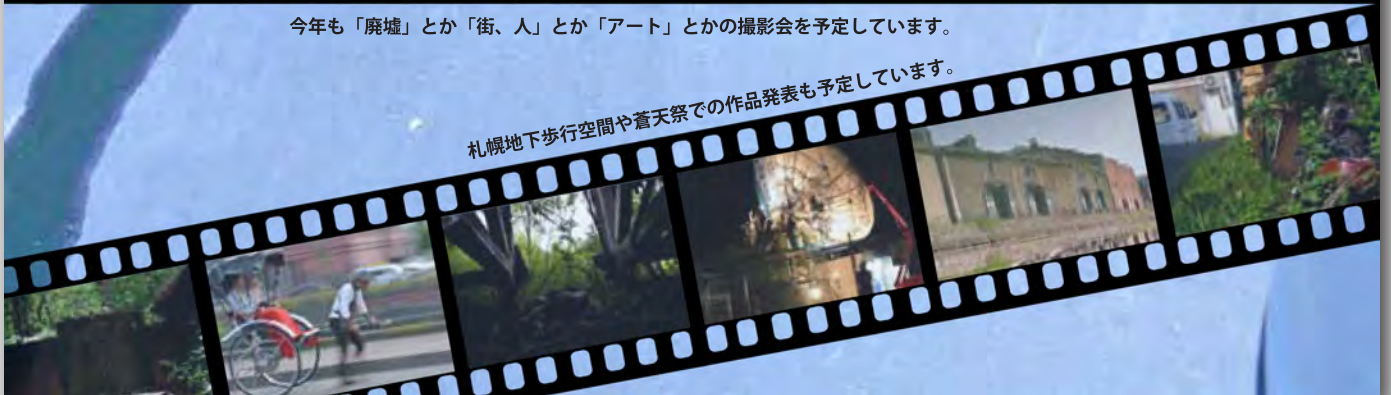
アートに触れる

地下歩行空間にて展示

蒼天祭

今年も「廃墟」とか「街、人」とか「アート」とかの撮影会を予定しています。

札幌地下歩行空間や蒼天祭での作品発表も予定しています。



s1111070@rmme.do-johodai.ac.jp



この先生の

裏

の顔シリーズ



第一回 三浦洋先生 情報メディア学部



この男、
大学を退出
した後のア
フター6 pm
が滅法忙し

い。夜陰に紛れて急ぐ先は、あるときはコンサートホール、あるときは映画館、またあるときはアングラ演劇の芝居小屋。クラシックバレエを堪能する日などは、熊川哲也よろしく爪先立ちで小走りに駆け込む。いつも開演時刻ギリギリに到着するから、額の汗が乾く間もなく、まばゆいステージに目を凝らすことになる。

2、3時間、現実を離れて芸術の世界に没入した男は、終演後、またも慌ただしく家路につく。深夜に帰宅後は、夜食を掻き込んだ後、新聞社や雑誌社から依頼された原稿を書き始める。執筆のための資料を読んだだけで朝を迎えることもしばしばだ。音楽評を書こうとして気が変わり、生命科学の雑誌に連載中の原稿に筆を持ちかえることもある。かと思えば、学会から送られてきた査読原稿を締め切り間際によく読み終えて、冷や汗をかくこともある。1日が25時間あったら…と夢想しては溜息をつくのが日課だ。

家族が起きてくる前に仕事を終えようと、朝5時から6時の間はeメールを読んで返信する作業に充てる。海外からもeメールが届くので、各国語の辞典が欠かせない。しかし、英国の知人が、なぜか送ってくるポルトガル語のeメールはまったくわからないため、目にいっぱい涙を浮かべながら、「さようなら」とつぶやいてファイル

を閉じる。

この男、週末も忙しい。家族からブーイングを浴びせられながら、東へ西へと赴く。手帳を見ないと今日はどこへ行く日だったかわからなくなることもしばしばで、加齢とともに、この症状はひどくなる。ショパンについて講演する日に、朝からバッハの本を読んでいたことがあり、はっと気づいて「いったい何をしているんだろう？」と思った瞬間、講演のテーマが「ショパンに対するバッハの影響」だったことを思い出したりする。

ともあれ、大学の仕事は、教育も研究も天職だから、楽しくて仕方がない。講義をしばらくしないでいたり、ライフワークの古代ギリシャ語の翻訳作業を中断したりすると、かえって体調を崩したりする。このところ気になるのは、「哲学」の教科書を書くという、出版社との約束をいつ果たせるかわからないことだ。これ以上、家族を犠牲にするわけにはいかないし……とつぶやいては、つくづく独身者をうらやましく思う。けれど、家庭生活と研究生生活を両立させるという宇宙開闢以来の

難題——独身者には決してわからない難題から逃げるわけにはいかないとも思う。親として、配偶者として生きればこそ、学者として生きる意味が確信できると、ぜひとも若い世代に伝えたいからだ。

忙殺されて自然体が保てないときは、しばしば本棚の前にたたずみ、お気に入りの夏目漱石やシェイクスピアの数ページをめくってみたり、英国で仕入れたブロンテ姉妹の小説を眺めたりして気分転換する。なによりの清涼剤は「星の王子さま」だ。フランス語はもとより、ドイツ語、ポーランド語、フィンランド語、ロシア語、韓国語…など各国語の翻訳を眺めるのが楽しい。文字は違えど、王子さまがたった1本のバラに水をあげている絵の優しさは変わらない。ちなみに、一番感動したのは、近年出た新しい日本語訳と、ローマで売っていたラテン語訳だという。いつの日にかポルトガル語訳も読めるようになりたいと、けなげな男は、王子さまのように夢見ている。



マックとビデオのネイティブ会話

ネイティブスピーカーが教える 第1回 エマージェンシー会話

本学・北海道情報大学には、たくさんのネイティブスピーカーの外国人教員がいます。この先生達は、外国語の講座だけではなく、色々な研究・学習場面で外国語が必要なときにも指導やアドバイスに参加します。例えば、世界経済、ウェブサイトの研究に外国語は欠かせません。そんな時に、間違いない外国語で表示できるのも、彼らの力があるからです。



Charles McLarty
1981, 6/15 Portland State University-English Literature and Teaching English as a Second Language (B.A.) 1987, 6/15 Monterey Institute of International Studies-Japanese Studies (M.A.) 1993, 4/1~北海道情報大学 (講師、准教授)



田中 英夫
1958年上海生まれ 大阪市立大学大学院経営学研究科(商学専攻)後期博士課程修了 1999年4月 京都大学経済学部(非常勤講師) 2000年4月 北海道情報大学経営情報学部(講師) 2001年4月~北海道情報大学情報メディア学部(講師、助教授、教授)

Please call an ambulance now!

プリズ コール
アン アンピュランス ナオ



救急車を
すぐに
呼んで下さい!



快叫救护车!
クアイ ジアオ ジュフツア

Please help us!

プリズ ヘルプ アース



助けて
下さい!



救命啊!
ジュミンア

Thief! Stop that person!

ストップ ザット シーフ
パーソン



ドロボー!
捕まえて
下さい!



抓住他!
ツウア ツウ タ

English

回りの人がけがをした時などは、英語でいろいろな表現があります。たとえば、人が倒れた場合、"There's a man down here." あるいは、短く "Man down!" でも OKI。けが人の場合 "There's an injured person here." 「けがをした人とがいるよ」。乗り物などの中でけが人が出た場合、"Are there any medical personnel here?" 「医学の資格をもつ人、いませんか。」 "Can someone call a doctor?" 「誰かがお医者を呼んでもらいませんか。」と使います。

人が水に溺れた場合は、"There's a drowning person!" 「溺れている人がいるよ。」もし船などから落ちた場合、"Man overboard!"。さらにプールに溺れている場合、"Is there a lifeguard?" 「プールの監視人をお願いします。」などの意味になります。

次に財布が泥棒に取られた場合、もっともアメリカ的な英語で、"Hey! He took my wallet! Stop him!" 「あいつが私の財布を盗んだよ。捕まえてくれよ。」スリのことは、英語で "thief" もあるが、"pickpocket" は一般的な言い方です。警察に被害届けを出す時に、"I was hit by a pickpocket." 「スリに財布を取られました。」と言います。とにかく、万が一財布を取られた場合、いかに冷静にいられるかが勝負です。もちろん、人がけがをした時も、人が水に溺れている場合も、単語並びの英語さえ言えば助かる可能性がだいぶ up するはず。

中国語

中国では、緊急事態が発生した時にどのような言葉を使い、危機管理を行うのか。今回は次のような具体的なシチュエーションによる場面を用意しました。

まずは交通事故で死傷者が出た緊急時に、現場にいる者は一斉に「快叫救护车! クアイ ジアオ ジュフツア」と大きい声で呼び、助けを求めます。次に友だちが水に溺れた緊急時に、現場にいる者は一斉に「救命啊! ジュミン ア」と大きい声で呼び、落水者の救出に急ぐのです。最後に財布が盗まれ、逃げていく泥棒を追いかける緊急時に、被害者は「抓住他! ツウア ツウ タ」と大きい声で呼び、加害者が捕まるまで懸命に走ります。

以上のような言葉を覚え、危機管理に徹するならば、中国旅行は安全で大丈夫です。

ネイティブ会話を動画で見よう!
お二人のネイティブ発音を動画で聞きましょう! ↓こちら!

http://www.youtube.com/watch?v=_Fz0i1D6mmg&feature=youtu.be



サイクルシェアリング

のっちゃん 開始

平成 25 年 8 月 1 日より、江別市（建設部顔づくり推進室）・野幌駅周辺地区活性化協議会、江別自転車商組合及び北海道情報大学の協力により、サイクルシェアリング「のっちゃん」が利用開始となりました。

この事業は、「環境に配慮したまちづくり」や「放置自転車対策」を目的に、野幌地区の 2 か所（野幌駅西側高架下・情報大学敷地内）にサイクルポートを設置し、50 台の自転車（下記参照）を、一般会員 40 名、情報大学学生会員 40 名の計 80 名が通勤や通学に共同利

用するもので、4 者による協議会にて運営を行います。

サイクルシェアリングは登録会員制となっており、今年度の利用料金については 8 月から 11 月末までの短期利用となるため 500 円（会員登録料のみ）となりますが、次年度は 4 月からの利用を予定し、11 月末までの約 8 ヶ月間で 3000 円前後の利用料金を予定しています。

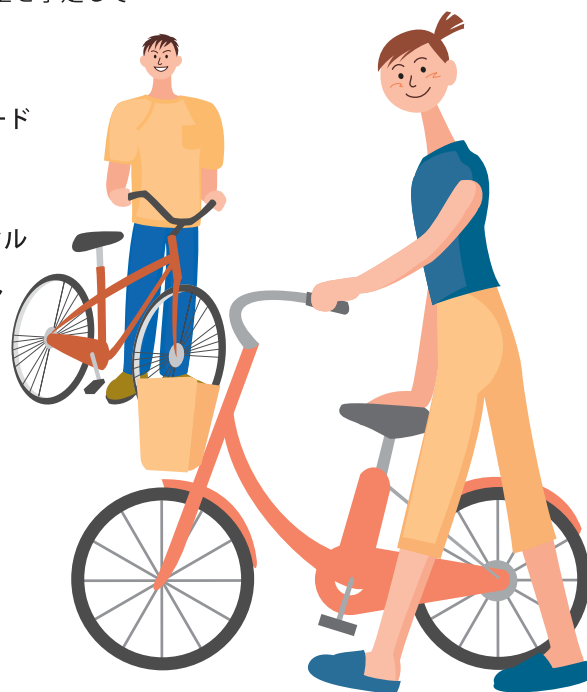
なお、今年度の会員募集は定員に達したため、すべて終了していましたが、次年度からの利用を是非お待ちしております。詳しくは、野幌駅周辺地区サイクルシェアリング運営事務局（011-398-6900）または北海道情報大学学生サポートセンター事務室へお問い合わせください。



IC カード表面

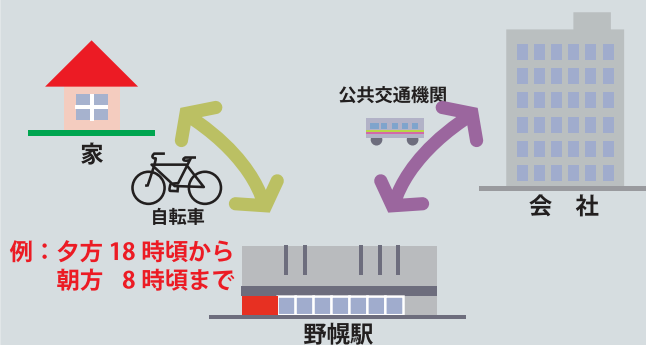


サイクルポートサイン

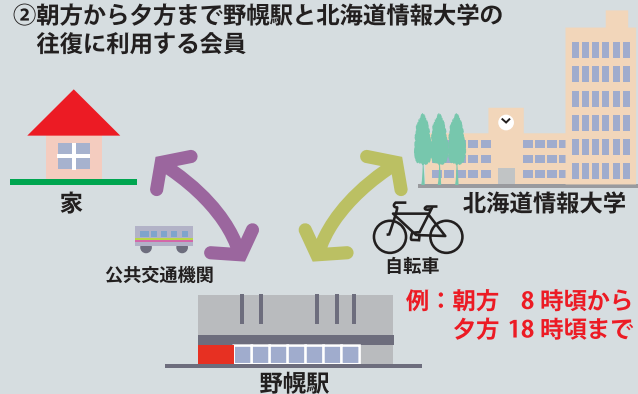


サイクルシェアリングのイメージ

① 朝方と夕方に野幌駅と自宅の往復に利用する会員



② 朝方から夕方まで野幌駅と北海道情報大学の往復に利用する会員



こうした取り組みにより環境に配慮したまちづくりを行い、放置自転車を減らすことでまちの魅力を向上させます。

今、世界が注目するカンファレンス
TED^xが情報大にくる！

TED^xHIU

x = independently organized TED event

9月29日(日)
本学にて開催決定！



7月24日、学内にて
第2回目のプレイベントを
行いました。

TEDとは？

TEDとは、テクノロジー、エンターテインメント、デザインの略でありアメリカカリフォルニア州ロングビーチで行われる（2014年からカナダに移ります）、年に1度4日間に及ぶカンファレンスです。このカンファレンスは毎年、さまざまな分野から「広める価値あるアイデア」を持つスピーカーが招かれ、18分以内のスピーチで観衆に自分が持つアイデアを伝えるという、叡智にあふれたカンファレンスです。

アメリカでの主な登壇者はスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツ、アル・ゴアなどといった世界的な著名人も含まれています。

日本では2012年にNHKがこのTEDを紹介する番組「スーパープレゼンテーション」を放映開始したため、日本でも注目されるようになりました。

さて、このTED。アメリカで生まれたのですが、実は今ではTED本部からライセンスを取得した世界130以上の都市でも開催されています。またさらに、世界各国の大学においても開催されるようになり、日本では東京大学、早稲田大学、大阪大学等の大学でこのTEDからライセンスを取得したTEDxUniversityイベントを開催しております。



このようなすばらしいイベントに本学でも挑戦しようということになり、本学情報メディア学部3年生川股学さんがこの度アメリカTEDにライセンス申請をし、これが見事に審査を通過し、日本国内で9番目のTEDxUniversityイベント、TEDxHIUが9月29日に開催されることになりました！

現在TEDxHIUの学生スタッフは50名程度にもなり、日々9月29日の開催に向けて準備に追われています。今や世界的なブランド力を持つTEDを情報大で開催するとあって、学生スタッフには期待感と緊張感があふれていますが、国際性と豊かな人間性を育む教育機関としての本学の使命・目標を果たすべく、大学一丸となって9月29日の成功を目指していきたくと思っています。TEDxHIUの様子は開催後、インターネットでもご覧になれますのでぜひご注目ください！

TED^xHIU

x = independently organized TED event

Building Global Vision

TEDxHIU.com

 facebook.com/TEDxHIU

 TEDxHIU

平成25年度 北海道情報大学 公開講座開始

本学では、社会教育活動の一環として、本年度も江別市とその近郊にお住まいの皆様を対象とした公開講座を開講しております。

本学在学学生・卒業生・保護者の方もご参加いただけますので、興味のある方は、本学教務課までお問い合わせください。

なお、小中学生・高校生が対象となっている講座以外はすべて有料となっておりますことをご了承ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

No.	講座名	場所	講師
1	現代子どものコミュニケーションの問題性とその解決法 ～教育カウンセリングを手がかりに	札幌サテライト	本学教授・中村 正巳
2	食と健康	札幌サテライト	本学教授・西平 順
3	人づき合いが良くなる教育カウンセリング1日体験講座 ～S G E技法を学ぶ(春期)	札幌サテライト	本学教授・中村 正巳
4	生活習慣病と遺伝子	札幌サテライト	本学教授・中林 秀和
5	Word 2010初級講座	本学	本学准教授・広奥 暢
6	初めてのデジタルカメラ	札幌サテライト	本学非常勤講師・北島 優
7	海外旅行を皆で語ろう	札幌サテライト	本学教授・中村 忠之
8	自分で防ごう心臓病	札幌サテライト	本学教授・佐藤 浩樹
9	人づき合いが良くなる教育カウンセリング1日体験講座 ～S G E技法を学ぶ(夏期)	札幌サテライト	本学教授・中村 正巳
10	Welcome to the World of English!!～英語やり直し塾～	本学	本学教授・竹内 典彦 本学准教授・チャールズ・マクラークティ
11	夏休み子どもビデオ講座	本学	本学准教授・向田 茂 本学准教授・安田 光孝
12	夏休み自由研究教室～ロボットで科学を学ぼう～	本学	本学准教授・棚橋 二郎
13	モチベーション・マネジメント ～文系のモチベーション・理系のモチベーション～	札幌サテライト	本学准教授・金間 大介
14	JavaScriptを用いた初級プログラミング	本学	本学講師・柳 信一
15	英語でコミュニケーション!!	本学	本学講師・ジョエル・ライアン
16	サービスマネジメントを学ぼう	札幌サテライト	本学教授・坂本 英樹
17	フォトショップ始めの一步 初級編	本学	本学非常勤講師・北島 優
18	モーションキャプチャ体験講座	本学	本学准教授・向田 茂
19	伝わるプレゼンテーション ～初級パワーポイントの使い方～	本学	本学准教授・長尾 光悦
20	実伝・日本の素粒子物理学～ノーベル賞を辿って～	札幌サテライト	本学教授・豊田 規人
21	レベルアップ!フォトショップ 中級編	本学	本学非常勤講師・北島 優
22	Excel 2010初級集中講座	本学	本学准教授・広奥 暢

【問い合わせ・申込先】北海道情報大学 教務課(公開講座担当)

電話:011-385-4427(公開講座直通) / ファクス:011-385-4433

E-MAIL:hiukouza@do-johodai.ac.jp

URL:http://www.do-johodai.ac.jp/kouza/kouza.html

【申込方法】往復はがき・FAX・E-MAILのいずれかで、お申込みください。

※聞き間違い等防止のため、電話での受付は行いませんので、あしからずご了承ください。

【受付時間】月～金曜日 / 9時00分～17時45分(土曜・日曜・祝日 / 休業)

【夏期休業】8月9日(金)～8月21日(水)

講座日程	開講時間	回数	受講料	対象	定員	申込期間
5月11日(土)	10:00～17:30 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	一般	10名	4月15日(月) ～4月26日(金)
5月16日(木), 7月11日(木), 9月12日(木)	18:00～19:30	全3回	1,000円	一般	30名	4月22日(月) ～5月2日(木)
6月1日(土)	10:00～17:30 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	一般	10名	5月7日(火) ～5月17日(金)
6月4日(火), 11日(火)	18:00～19:30	全2回	1,000円	一般	30名	5月13日(月) ～5月24日(金)
6月6日(木), 13日(木), 20日(木)	18:30～20:00	全3回	3,000円	一般	30名	5月13日(月) ～5月24日(金)
6月8日(土), 15日(土), 22日(土)	13:30～15:30	全3回	1,000円	一般	30名	5月13日(月) ～5月24日(金)
7月2日(火), 9日(火), 16日(火), 23日(火)	18:30～20:00	全4回	1,000円	一般	30名	6月10日(月) ～6月21日(金)
7月4日(木)	18:00～19:30	全1回	500円	一般	30名	6月10日(月) ～6月21日(金)
7月6日(土)	10:00～17:30 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	一般	10名	6月10日(月) ～6月21日(金)
7月13日(土), 20日(土), 27日(土)	13:30～15:30	全3回	1,000円	一般	20名	6月17日(月) ～6月28日(金)
8月9日(金), 10日(土)	9:30～16:30 (昼休憩1時間)	全2回	無料	小学3年生 ～小学6年生	10名	7月16日(火) ～7月26日(金)
8月10日(土)	13:00～17:30	全1回	無料	小学校高学年 とその保護者	15組(各組 最大6名まで)	7月16日(火) ～7月26日(金)
8月27日(火), 9月3日(火), 10日(火), 17日(火)	18:30～20:00	全4回	1,000円	一般	30名	7月29日(月) ～8月8日(木)
9月7日(土), 14日(土), 21日(土)	13:30～15:30	全3回	3,000円	一般	30名	8月19日(月) ～8月30日(金)
9月24日(火), 10月1日(火), 8日(火), 15日(火)	18:30～20:00	全4回	1,000円	一般	20名	9月2日(月) ～9月13日(金)
9月26日(木), 10月3日(木), 10日(木), 17日(木)	18:30～20:00	全4回	1,000円	一般	30名	9月2日(月) ～9月13日(金)
10月24日(木), 31日(木), 11月7日(木), 14日(木)	18:30～20:00	全4回	3,000円	一般	30名	9月30日(月) ～10月11日(金)
10月26日(土)	13:00～17:00	全1回	無料	中学1年生 ～高校3年生	10名	9月30日(月) ～10月11日(金)
11月5日(火), 12日(火), 19日(火), 26日(火)	18:30～20:00	全4回	3,000円	一般	20名	10月15日(火) ～10月25日(金)
11月9日(土), 16日(土)	13:30～15:30	全2回	1,000円	一般	30名	10月15日(火) ～10月25日(金)
11月21日(木), 28日(木), 12月5日(木), 12日(木)	18:30～20:00	全4回	3,000円	一般	30名	10月28日(月) ～11月8日(金)
12月14日(土)	10:00～16:00 (休憩1時間)	全1回	3,000円	一般	30名	11月18日(月) ～11月29日(金)

学校法人 電子開発学園 平成24年度決算の概要

平成24年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせ致します。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

①資金収支計算書

平成24年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れで見ると、収入は補助金収入が予算対比25百万円増加、資産運用収入が予算対比2百万円増加、その他の収入では長期預金が満期になり予算対比4億50百万円増加、学費等前受金収入が予算対比23百万円減少、事業収入が予算対比9百万円減少し、前年度より繰越された支払資金の40億66百万円を加えると、収入合計は92億68百万円となり、予算対比4億59百万円の収入増となりました。

支出については、人件費が予算対比14百万円減少、教育研究経費と管理経費において、予算対比90百万円減少しました。資産運用支出は満期となった長期預金の新規預け入れが予算対比4億50百万円増加、有価証券購入が予算対比98百万円増加、設備関係支出では教育研究用機器備品支出が予算対比3百万円及び図書支出が予算対比1百万円増加し、次年度への繰越支払資金は43億77百万円で、予算対比37百万円の増加となりました。

②消費収支計算書

平成24年度の消費収支計算書により予算と決算を比較すると、収入は手数料が2百万円、補助金が25百万円、資産運用収入が2百万円、雑収入が1百万円と予算を上回り、事業収入は9百万円予算を下回り、その結果、帰属収入合計は44億9百万円で予算対比22百万円の増加となりました。基本金組入額は実習室・ゼミ室のパソコン等設備及び受託研究用機器備品の購入、機器備品の除却で2億28百万円となり、予算対比1百万円の増加となりました。消費収入合計は帰属収入合計から基本金組入額を差し引いて、41億81百万円で予算対比22百万円の収入増となりました。

支出については、予算より決算支出が減少となり、人件費

が19億21百万円で予算対比15百万円減少、教育研究経費・管理経費は21億33百万円で予算対比88百万円減少、資産処分差額は有価証券の時価評価による減損を見込んでいましたが、減損にはならず、予算対比42百万円減少、徴収不能引当金繰入額等は22百万円で、予算対比17百万円減少となり、消費支出合計は40億99百万円で、予算対比1億62百万円の支出減となりました。

以上により、当年度消費収入超過額は82百万円、翌年度繰越消費収入超過額は8億81百万円となりました。

③貸借対照表

平成24年度末における資産の部合計は148億50百万円で前年度末対比2億90百万円増加しました。その内訳は固定資産が主に建物・構築物の減価償却額で前年度末対比1億91百万円減少、外壁改修等の建設仮勘定が46百万円増加、有価証券の償還及び購入で43百万円増加、退職給与引当特定預金が38百万円増加し、合計52百万円減少となりました。流動資産は主に現金預金が3億10百万円、未収入金が29百万円増加し、合計3億42百万円増加となりました。

負債の部合計は34億40百万円で前年度末対比19百万円減少しました。その内訳は固定負債が主にeDCタワー等の長期借入金が1億1百万円減少、長期未払金が4百万円減少、退職給与引当金が43百万円増加し、合計63百万円減少となりました。流動負債は主に未払金が27百万円増加、その他(前受金等)が16百万円増加し、合計43百万円増加となりました。

基本金の部合計は105億29百万円で前年度末対比2億28百万円増加しました。その内訳は校舎・教育用機器備品・図書・教育研究用ソフトウェア等の固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が2億22百万円、恒常的に保持すべき資金の額を示す第4号基本金の組入額が6百万円となっています。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により一段と厳しくなっていますが、本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色のある教育活動や経費節減に取り組み、教育改革および経営改革を推進する所存です。

①資金収支計算書 平成24年4月1日～平成25年3月31日

収入の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,662,620,000	3,662,894,519	△ 274,519
手数料収入	33,667,000	35,547,100	△ 1,880,100
寄付金収入	1,504,000	2,004,449	△ 500,449
補助金収入	386,922,000	412,261,244	△ 25,339,244
国庫補助金収入	355,912,000	387,944,419	△ 32,032,419
地方公共団体補助金収入	31,010,000	24,316,825	6,693,175
資産運用収入	32,576,000	34,946,933	△ 2,370,933
資産売却収入	400,224,000	400,363,315	△ 139,315
事業収入	183,624,000	174,147,021	9,476,979
雑収入	33,616,000	35,005,893	△ 1,389,893
前受金収入	1,681,921,000	1,659,315,567	22,605,433
その他の収入	82,447,000	534,159,398	△ 451,712,398
資金収入調整勘定	△ 1,756,478,000	△ 1,749,069,455	△ 7,408,545
前年度繰越支払資金	4,066,456,000	4,066,456,291	△ 291
収入の部合計	8,809,099,000	9,268,032,275	△ 458,933,275

支出の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,889,429,000	1,875,043,078	14,385,922
教育研究経費支出	1,230,746,000	1,170,134,732	60,611,268
管理経費支出	675,133,000	645,387,154	29,745,846
借入金等利息支出	17,991,000	17,989,331	1,669
借入金等返済支出	101,591,000	101,590,000	1,000
施設関係支出	57,050,000	56,870,220	179,780
設備関係支出	126,679,000	130,772,035	△ 4,093,035
資産運用支出	340,657,000	888,833,744	△ 548,176,744
その他の支出	511,278,000	509,403,641	1,874,359
資金支出調整勘定	△ 481,202,000	△ 504,641,093	23,439,093
次年度繰越支払資金	4,339,747,000	4,376,649,433	△ 36,902,433
支出の部合計	8,809,099,000	9,268,032,275	△ 458,933,275

②消費収支計算書 平成24年4月1日～平成25年3月31日

消費収入の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,662,620,000	3,662,894,519	△ 274,519
手数料	33,667,000	35,547,100	△ 1,880,100
寄付金	5,483,000	6,201,158	△ 718,158
補助金	386,922,000	412,261,244	△ 25,339,244
国庫補助金	355,912,000	387,944,419	△ 32,032,419
地方公共団体補助金	31,010,000	24,316,825	6,693,175
資産運用収入	32,576,000	34,946,933	△ 2,370,933
資産売却差額	44,974,000	44,974,000	0
事業収入	183,624,000	174,147,021	9,476,979
雑収入	36,702,000	38,092,050	△ 1,390,050
帰属収入合計	4,386,568,000	4,409,064,025	△ 22,496,025
基本金組入額合計	△ 227,189,000	△ 227,752,906	563,906
消費収入の部合計	4,159,379,000	4,181,311,119	△ 21,932,119

消費支出の部 (単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,936,234,000	1,920,959,208	15,274,792
教育研究経費	1,498,424,000	1,439,891,241	58,532,759
管理経費	723,049,000	693,344,357	29,704,643
借入金等利息	17,991,000	17,989,331	1,669
資産処分差額	46,515,000	4,931,080	41,583,920
徴収不能引当金繰入額等	39,285,000	22,362,590	16,922,410
消費支出の部合計	4,261,498,000	4,099,477,807	162,020,193
当年度消費収入超過額		81,833,312	
当年度消費支出超過額	102,119,000		
前年度繰越消費収入超過額	799,080,000	799,079,869	
翌年度繰越消費収入超過額	696,961,000	880,913,181	

③貸借対照表 平成25年3月31日

資産の部 (単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,325,687,268	10,377,688,334	△ 52,001,066
有形固定資産	7,407,093,711	7,542,266,914	△ 135,173,203
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,787,043,126	4,965,698,124	△ 178,654,998
構築物	73,358,111	85,480,325	△ 12,122,214
教育研究用機器備品	302,824,910	298,430,605	4,394,305
その他の機器備品	48,683,153	49,540,059	△ 856,906
図書	416,007,506	407,929,895	8,077,611
車輛	8,017,886	9,671,757	△ 1,653,871
建設仮勘定	45,642,870	0	45,642,870
その他の固定資産	2,918,593,557	2,835,421,420	83,172,137
教育研究用ソフトウェア	46,947,417	43,169,283	3,778,134
その他のソフトウェア	6,109,922	5,261,497	848,425
有価証券	2,272,100,000	2,229,126,000	42,974,000
その他の固定資産	593,436,218	557,864,640	35,571,578
流動資産	4,523,936,418	4,181,674,466	342,261,952
現金預金	4,376,649,433	4,066,456,291	310,193,142
未収入金	76,185,504	47,170,191	29,015,313
その他の流動資産	71,101,481	68,047,984	3,053,497
資産の部合計	14,849,623,686	14,559,362,800	290,260,886

負債の部 (単位:円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,178,363,861	1,241,032,309	△ 62,668,448
長期借入金	1,023,680,000	1,125,150,000	△ 101,470,000
退職給与引当金	79,973,438	37,143,465	42,829,973
長期未払金	74,710,423	78,738,844	△ 4,028,421
流動負債	2,261,221,017	2,217,877,901	43,343,116
短期借入金	101,470,000	101,590,000	△ 120,000
未払金	462,112,768	435,470,115	26,642,653
前受金	1,659,315,567	1,651,294,481	8,021,086
預り金	38,322,682	29,523,305	8,799,377
負債の部合計	3,439,584,878	3,458,910,210	△ 19,325,332

基本金の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	10,218,125,627	9,996,372,721	221,752,906
第4号基本金	311,000,000	305,000,000	6,000,000
基本金の部合計	10,529,125,627	10,301,372,721	227,752,906

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	880,913,181	799,079,869	81,833,312
消費収支差額の部合計	880,913,181	799,079,869	81,833,312
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,849,623,686	14,559,362,800	290,260,886

HIU系女子の活動日記

6がつ23にち はれ
"女子カフェ"に
参加してきた！

♡ 女子カフェとは？



情報大に興味があるけれど男子ばかりのイメージで踏み出せない女子のために行われた「女子限定」のオープンキャンパスのこと。6月23日にeDC タワー2階のカフェで開かれた。女子カフェの名の通り、料理が食べ飲み放題ということで、女子高生のみならず案内役の女子在学生も数々の料理を笑顔で頬張りつつキャンパスライフなどについて語り合った。他にも、在学生によるサークル・資格取得・就職に関するスライド発表などが行われたり、とても充実したものとなった。



♡ 当日のレポート！

すべての学部から案内役として女子在学生が収集され、始まる前からとても賑やかな空間が出来上がっている時点で女子カフェは楽しいものになるなど最初から私はにらんでいました。いつもと違って女子的でおしゃれになっているカフェスペースと並べられた料理たちを前に写真を撮りまくる私たち。今回はパスタやケーキなど様々な料理が無料で食べ放題ということもあって、おそらく女子高生よりも私たちのほうが楽しみにしていたのではないかと思います。女子カフェがスタートするやいなや、女子特有のフレ

ンドリーさでどの席についた人もすぐに仲良くなっていました。最初から情報大に興味を持って話を聞きに来た子だけでなく、なんとなく女子カフェに参加してみた子も、真剣に話を聞いてくれていたように感じました。自分自身もそうだったように、パンフレットだけではやはりなかなか大学のことを詳しく知ることができないので、直接在学生（しかも話しやすい同性の先輩）と話せるというのはすごく助かるのではないのかと思います。しかも美味しいものつき。情報大太っ腹。女の子に優しい…！！確かに情報大は女子が少ないのですが、少ないゆえに学部や学年関係なしに仲良くなりやすいのです。私自身もこの女子カフェで更に関わりが増えて参加した甲斐がありました。

女子カフェは初めての試みでしたが、好評につき秋頃にまた開催するかもしれないとの噂です！女の子いっぱい入学してほしいなあ、と思うのでした。



ケーキいっぱい！！テンションあがるうう



残念ながらいつもカフェにいないのです…

女子高生の若さを実感する私たち。(20歳) 三年前は制服着てたのですけれど！！



大学主要行事など

<4月2日~8月1日>

◆◆ 教職員の動向 ◆◆

※なし

◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇

- 5月13日~14日 会計検査院実地調査
- 5月16日 理事会・評議員会
- 5月20日~5月24日 有限責任監査法人トーマツ「平成24年度期末監査」

◇大学◇

- 4月4日 入学式
 - 5日~10日 スタートアッププログラム
 - 5日~6日 新入生宿泊研修
 - 11日 前期開講
 - 12日 経営情報学部教授会
 - 19日 医療情報学部教授会
 - 情報メディア学部教授会
 - 25日 新任教員研修会
 - 26日 全学教授会
- 5月2日 月曜授業実施日
 - 9日 国外研修報告会
 - 10日 経営情報学部教授会
 - 16日 POLITE研修会
 - 17日 医療情報学部教授会
 - 情報メディア学部教授会
 - 23日 特別講演会
 - 27日 保護者の会役員会
 - 28日~30日 春の食生活改善運動
- 6月7日 学内共同研究成果報告会
 - 8日 留学生日本語弁論大会
 - 10日 創立記念日
 - 企業・病院説明会、大学説明会
 - 14日 経営情報学部教授会
 - 15日 金曜授業実施日
 - 21日~22日 体育祭
 - 21日 医療情報学部教授会
 - 情報メディア学部教授会
 - 24日~29日 授業参観週間
 - 28日 全学教授会
 - 29日 南京大学外国語学院留学生準備クラス聴講生入学試験
 - 月曜授業実施日
- 7月6日 酪農学園大学交換授業
 - 8日~12日 テスト前対策「ピアサポ・すくーる」
 - 10日 名誉教授称号授与式
 - 12日 経営情報学部教授会
 - 19日 医療情報学部教授会
 - 情報メディア学部教授会
 - 20日 教員免許状更新講習認定試験
 - 図書館市民見学会
 - 26日 全学教授会
 - 27日 留学生日帰りバスハイク

◇大学院◇

- 4月4日 研究科委員会
 - 5日 学位論文等研究計画発表会
 - 23日 研究科委員会
- 5月18日 推薦入学試験
- 7月3日 研究科委員会

◇通信教育部◇

- 4月1日 前期インターネットメディア授業開始
 - 8日 前期 I Pメディア授業放映開始
 - 10日 平成25年度第8回入学者選考
 - 25日 名古屋教育センター 大学見学
- 5月25日~26日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①
- 6月14日~16日 前期地方スクーリング(1)
- 7月5日~7日 前期地方スクーリング(2)
 - 16日~19日 前期 I Pメディア授業科目試験
 - 20日~21日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験②
 - 23日 新潟教育センター 大学見学
 - 29日~8月3日 夏期スクーリング(1)

◆◆ 広報活動 ◆◆

《進学相談会》

- 4月：北海道21会場(小樽(2)、函館(3)、室蘭(2)、苫小牧(2)、旭川(2)、稚内、大樹、花川南、羽幌、帯広、釧路、北見、中標津、札幌(2))
- 神奈川県1会場(横浜)
- 5月：北海道14会場(静内、岩見沢、旭川、帯広、釧路、札幌(3)、北見、新札幌、

名寄、紋別、枝幸、稚内)

秋田県1会場(秋田)

埼玉県1会場(さいたま)

- 6月：北海道19会場(札幌北(2)、函館、釧路、中標津、帯広、網走、旭川、名寄、北見、稚内、滝川、札幌(2)、留萌、新札幌、知内、八雲、江差)

7月：北海道4会場(苫小牧、札幌(3))

《高校内ガイダンス》

- 4月：北海道3校(江陵高校、滝川西高校、駒澤大学附属苫小牧高校)
- 東京都1校(杉並学院高校)
- 5月：北海道5校(北星学園女子高校、檜山北高校、北海学園札幌高校、南幌高校、札幌龍谷学園高校)
- 東京都2校(豊南高校、東京実業高校)
- 神奈川県3校(横浜清風高校、武相高校、相洋高校)
- 6月：北海道14校(飛鳥未来高校、札幌北斗高校、駒澤大学附属岩見沢高校、旭川大学高校、旭川龍谷高校、札幌創成高校、旭川実業高校、当別高校、札幌厚別高校、札幌光星高校、札幌山の手高校、札幌静修高校、札幌南陵高校、倶知安高校)
- 青森県1校(青森中央高校)
- 埼玉県2校(武蔵越生高校、埼玉栄高校)
- 東京都2校(昭和第一高校、東京学園高校)
- 神奈川県1校(向上高校)
- 福岡県1校(中村学園三陽高校)
- 7月：北海道2校(北海高校、帯広北高校)
- 千葉県1校(敬愛学園高校)
- 埼玉県1校(浦和学院高校)
- 東京都1校(杉並学院高校)

《高校内進路講演会》

- 4月：北海道1校(美深高校)
- 5月：北海道3校(札幌琴似工業高校、札幌山の手高校、余市紅志高校)
- 6月：北海道4校(クラーク記念国際高校、野幌高校、札幌丘珠高校、小樽明峰高校)
- 7月：北海道1校(清里高校)

《高校出張講義》

- 6月：北海道2校(苫小牧中央高校、札幌創成高校)
- 7月：北海道3校(新得高校、小清水高校、釧路明輝高校)

《高校訪問》

- 4月：北海道58校、埼玉県5校、千葉県2校、東京都3校、神奈川県4校
- 5月：北海道207校、埼玉県5校、東京都3校、神奈川県1校
- 6月：北海道70校、秋田県24校、栃木県1校、埼玉県2校、東京都2校、神奈川県1校
- 7月：北海道163校、埼玉県3校、千葉県1校、東京都2校、神奈川県2校

《オープンキャンパス》

- 4月21日 本学
- 5月26日 本学(医療情報学部)
- 6月9日 本学(経営情報学部)
- 16日 本学(情報メディア学部)
- 23日 本学(女子カフェ:女子限定)
- 7月7日 本学(医療情報学部)
- 21日 本学
- 28日 本学

《AO入試・奨学金説明会》

6月30日 本学

◇通信教育部◇

《入学説明会;本学独自》

- 6月：1会場(東京)
- 7月：13会場(本学、東京(6)、福岡、大分、名古屋、大阪、旭川、函館)
- 8月：1会場(東京)

◆◆ 主な来学者 ◆◆

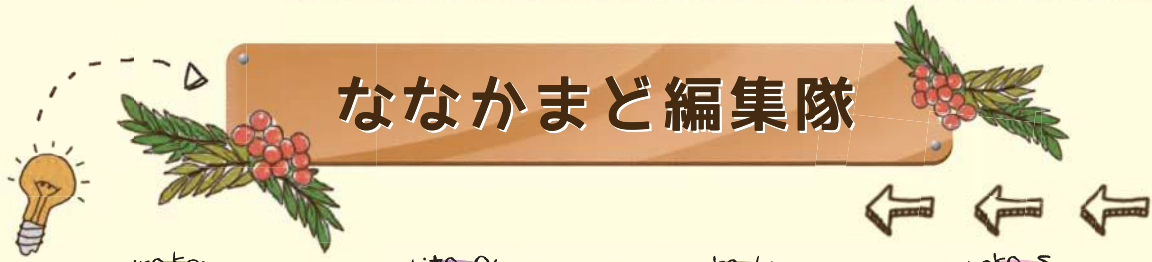
◇大学◇

- 6月26日 那須塩原市市議会一行
- 27日 気象庁気象衛星課一行
- 7月9日 大分県市議会議長一行

◇広報室来学者◇

- 5月14日 函館大学附属柏稜高校(教員1名)
- 16日 北海道栄高校(大学見学:生徒32名、教員1名)
- 31日 とわの森三愛高校(大学見学:生徒2名)
- 6月6日 江陵高校(教員1名)
- 7日 旭川龍谷高校(大学見学:生徒41名、教員1名)
- 12日 大分国際情報高校(大学見学:生徒81名、教員6名)
- 20日 小清水高校(大学見学:生徒18名、教員2名)
- 28日 江別高校(大学見学:生徒9名)
- 7月5日 青森商業高校(教員1名)
- 17日 旭川明成高校(大学見学:生徒34名、教員2名)
- 18日 函館大学付属有斗高校(教員1名)
- 8月1日 白樺学園高校(教員1名)

ななかまど編集隊



今回のななかまどから、冊子の編集のほぼ全てを本学の学生で担当することとなりました。その編集隊がこちら！編集隊としてレイアウトの基礎か

ら試行錯誤し、より見やすくなるようにと会議を重ね、デザインを制作してきました。冊子の編集は初めて経験するという人が多い中、ひとり一人が責

任を持って担当したページを作り上げています。これから、より読みやすく楽しい冊子にしていきたいとおもいますのでよろしくお願いたします！



編集隊募集中!!

現在、ななかまどと一緒に編集してくれる方を募集しています。本の編集に興味のある方、やったことがないので心配という方でも、やる気があれば大歓迎です。あなたの作ったページがそのまま、ななかまどに掲載されます。私たちと一緒にななかまどを編集しませんか？気になった方、やりたい方は川上研究室 228 までお越しください。